

翻刻 慶應義塾 大田錦城講説伊藤忠岱筆記『中庸聞書』(二)

慶應義塾
図書館蔵

清水 信子

はじめに

を
たい。

慶
応本

慶應義塾図書館(三田メディアセンター)蔵大田錦城^①

説伊藤忠岱筆記『中庸聞書』全二冊(以下略慶応本)は、

文政四年(一八二二)八月二十七日から十月二十二日ま

で、二と七の日に、計十二回に亘る講義を筆記したもの

である。該講義の忠岱による聞書は、先の翻刻(一)^③に

おいて既述のように、管見によれば、忠岱自身により整

理された清書本(以下略伊藤本)^④がある。基本的書誌事

項については、以下に再掲するが、その他、二点の関係、

及び錦城の『中庸』講義と聞書の概要、また錦城におけ

る『中庸』注釈書については、前出翻刻(一)を参照さ

中庸聞書一卷 (大田) 錦城先生講説 伊藤祐義忠岱筆

記 文政四年八月十月間講説筆記文政五年八月伊藤忠岱

清書本 全二冊 210-117

書形二十六・七×十八・七 経文七行十五字内外注

文和文小字双行二十四字内外又経文傍書 無点

首「中庸聞書／錦城先生講説／伊藤祐義忠岱筆記」

(全六十九丁：第一冊全三十五丁第二冊全三十四丁)

本文中講義日付曰「文政四年九月二十七日」「十

月二日」「十月七日」「十月十二日」「十月十七日」

末曰「文政五年壬午七月二十五日小諸藩中加川隆

禮／之聞書請之八月八日写始同十三日與余之聞／書
合而写終」 元表紙「中庸聞書」 題簽題「中庸聞
書」 印記「慶應義塾／図書館蔵」

伊藤本

中庸聞書四卷 錦城太田先生講説 伊藤祐義忠岱筆記

〔文政四年八月十月間講説筆記〕 文政十二年七月伊藤忠
岱清書本 全四冊

書形二十七・〇×十九・〇 經文六行十五字内外注
文和文小字双行二十四字内外 無点

首「聞書」(全二丁) 次「中庸聞書卷壹／錦城太

田先生講説／信濃伊藤祐義忠岱筆記」(全三十三丁)

以下至卷四(卷二全三十一丁、卷三全二十八丁、

卷四全二十八丁) 末曰「文政十二年己巳七月清書

／蓼山伊藤祐義」 元表紙「中庸聞書」 題簽題「中

庸聞書」又「太田錦城先生講説」

今回翻刻する慶応本第二冊は、文政四年十月二日、七
日、十二日、十七日、二十二日の第八回から第十二回の
講義を筆記したものである。翻刻に際しては、第一冊と
同様に、錦城の『中庸』注釈書の中でも諸文献の引用、

具体的解釈等、本聞書との一致、或いは相似箇所が散見
する、寛政三年四年(一七九一〜一七九二)間成書『中
庸考』(未刊⁵⁾)、文化元年(一八〇四)刊『九經談』卷四
所収「中庸」、文政五年(一八二二)六月自序同七年跋
刊『中庸原解』と照合し注記した。

照合結果によれば、經書等諸文献の引用は、文献、人
物の呼称等その記載から、『中庸考』を移写しているこ
とは確実であることが判明する。一方、講説部について
は、今後さらに本聞書の清書本である伊藤本を整理し、
その実際、また錦城各著との関係等を詳解していきたい。
本翻刻に当たり、慶應義塾図書館には、調査、閲覧に
際し御高配を賜り、また翻刻の許可をいただきました。
ここに記して心より感謝の意を表します。

注

- (1) 名元貞、字公幹・才佐、号錦城。明和二年（二七六五）生、文政八年（一八二五）没、享年六十一。
- (2) 名祐義、字忠岱、号鹿里・潜竜斎・仰繼堂。安永七年（二七七八）生、天保九年（二八三八）没、享年六十一。寛政十一年（二七九九）、錦城に入門する。『中庸』に關しては、自著文政四年（一八二二）刊『中庸筵撞』があり、該書には錦城が序を呈している。
- (3) 『松学舎大学東アジア学術総合研究所集刊』第三十八集（平成二十年三月三十一日）。
- (4) 伊藤祐俊氏所藏。同氏は、忠岱旧藏資料を受け継がれ、他に、本圖書の節録本も残されている。
- (5) 寛政三年から四年にかけて荻生徂徠『中庸解』に記した自身の書入を草稿としたもので、「中庸考草」「中庸考」と二種の書名が別行している。

凡例

一、本翻刻は、慶應義塾図書館(三田メディアセンター)蔵大田錦城講説伊藤忠俗筆記『中庸聞書』全三冊のうち第二冊を翻刻したものである。該講義は、文政四年八月二十七日から十月二十二日まで、二と七の日に、計十二回に亘って講義され、第二冊は、十月二日、七日、十二日、十七日、二十二日の第八回から第十二回の講義が筆記されている。

二、書式について、経文は一行字数等原文の通りとし、経文各字の左右等に傍書された講説部等注については、経文各字に「*」符号と番号を付し、各句の後に「(*1右)」等と、番号と位置を冠し列記した。また原文は無点であるが、注のみ適宜句読点を付し、改行は「/」符号で示した。

三、使用字体、及び表記は、原則として、誤字・衍字、同字における正字体と新字体、仮名遣い、及び濁点有無の混用、また括弧、符号等の表記も含め、原文の通りとした。但し、経文における脱字は「(」にて補い、「コト」「トモ」を示す合字については片仮名に改めた。また翻刻時の誤りと混同される場合には、適宜、「(マ」「マ)」と振り、続く「(」に補訂した。その他、判読不明文字等は「■」で示した。

四、各丁数表裏は、「一オ」「一ウ」等と表記し、一文内で改丁する場合には、「二」で区切り、行頭に丁次を記した。

五、錦城自著『中庸考』(以下略『考』)『九経談』『中庸原解』(以下略『原解』)との関連については、主に、各著との各種文献からの引用の一致、或いは同義箇所について注に記した。尚、照合に当たっては、『考』は原本とされる荻生徂徠『中庸解』書入、『九経談』は、『日本儒林叢書』第六冊所収活字版、『中庸原解』は『日本名家四書注釈全書』学庸部二所収活字版を使用した。

表紙裏¹

妓女腰細ノスカル處女ノ一サシハ痛クモ人ノ心ナヤマス。

1才

十月二日² 天下國家ヲヲサムルニモ、誠ノ一ジヤト云ヨリ、
誠ノ字ヲトクナリ。誠ノ字ヲトクノ發端ナリ。ノ萬事ノコトマイ
ヒロニスレハ³

凡事豫則立不豫則廢言前定則不

(* 1 右) 冒頭ノ綱⁴

(* 1 左) 説命、惟事事乃其有備、有備無患⁵。

(* 1 眉欄) 荀子大畧、ノ先患慮ノ患謂之豫。ノ事至而後ノ慮者

謂之ノ後。患至而ノ後慮者之ノ謂困。

(* 2 右) (主) ⁶ノ事ハ政事ナリ⁷。

(* 2 左) 前定⁸

(* 3 右) (客) ⁹

(* 4 右) 前定

(* 5 右) (言) (語) ¹⁰ノ目ノ分註¹¹

(* 5 右) 事、豫メスルトハイカントナレハ (* 5 左) 人ニ應對

シヤウト云トキニ、前ヒロニノ定メヨクトキニハ、ス

ラスラトシテ、ツマツクコトハナイ。

(* 6 右) 豫ナリ¹²。

踏事前定則不困行前定則不疚^{*1 *2 *1}

(* 1 右) 豫ナリ。

(* 2 右) (德) (行) ¹³

道前定則不窮^{*1 *2}

(* 1 右) (文) (学) ノコトニナル。コレハ道藝ヨリ云¹⁴。

(* 2 右) サシツカヘル

(* 2 下) 此章、論語ノ四科ニヨクアタル。シイテ當ノ子ハナラ

又ト云ワケテハナケレトモ、自然ニアタノリテヲル。

事ハ政事、言言語、行ハ德行、ノ道ハ文学ナリ。

上ヲウケテ誠カナイトサシツカイルト云コトヲトクナリ。

在下位不獲乎上民不可得而治矣^{*1 *2}

(* 1 右) 用ナリ。

(* 2 右) 民ヲ治ル知アリト云ヘトモ¹⁵

獲乎上有道不信乎朋友不獲乎上矣^{シカク *1}

(* 1 右) 朋友ニアレハヨイ人ト信仰サレ子ハ、推挙ノシテカナイ。

1ウ

信乎朋友有道不順乎親不信乎朋友矣^{*1 *2}

(*1右) シンカフサレルニ

(*2右) 順ハ逆ノ反逆ナラスシテ、親ノ氣ニイルコト。氣ニイ

ルカ孝道ノシヤ。先ヲヤノ氣ニイラ子ハ(*2左) 親

カヲレカ子ハ、ヨクシテクレルトホメル位テナケレハ、

朋友ノモ信シマセヌ。

(*2左) 父母其順矣トノ順モヤハリ同意シヤ。從ノ義テハノナ

イ。氣ニイラル、コト、孟子ニハ順ノ字ヲソレテハワ

カルマイトノ思テ、悦ノ字ニカヘテカイタ。サラハ悦

順ノ義シヤ。(*1左) 徂來カ、順ヲ子カ順ニシテ從

トノシタルハアヤマリ。

ヲヤニ孝行ノフリヲシタ位テ、ヲヤノ氣ニ入ルモノテナイ。本心

ノ誠ヨリ親孝行ニスルノ行ナケレハ、順ニハイラヌ。

順乎親有道反〔諸〕身不誠不順乎親矣

(*1左) 偽ノ字ノ反。偽ハニセモノ、誠ハ本心ノ誠ナリ。

誠身有道不明乎善不誠乎身矣

(*1右) 本心カラ身ニ誠アル羊ニナノラントスルニハ、

(*2右) 明善ニ字学問ノコト、格物致知ノコト。

(*3右) 学問セ子ハ、我身ニ誠アル羊ニハナラヌ。

(*3左) 誠意

上ニ獲ラレテ人ヲ治ルト云モノハ凡人テハナイ。人ヲ教フハ君

子ノスル所シヤ。佛説ノノ菩薩ト云ハ、己モヲサマリ、人モス
クフ。ソレカラ以下ハ、唯己カヲサマルハカリシヤ。

誠ハチリヤウイツハリニスルテハナイ。中心ノ誠カラスルコト。

内外ヲ合スルノ道シヤ。

2才

大戴礼文王官人、考其陰陽以觀其誠。喜氣内蓄、雖欲隱之、陽

喜必見。怒氣内畜、雖欲隱之、陽怒必見。又云、言行不類、終

始相悖、陰陽克易、外内不合、雖有隱節見行、曰非誠質者也¹⁶。

心行合一、陰陽合一、誠ト云ハ偽ノウラナリ。似セモノテナイ

ト云コト。サレトモコレノヨリ以下ノ誠ハ、鄭玄所謂大至誠、

無念無想ニシテ、中スル人ヲトクナリ。

讀書セサレハ明善スルコトアタハス。サラハ忠孝ヨリモ学問ト

云モノハ重キモノ。ノ讀書シテ善惡ヲヨク知ルトキハ、惡事ヲ

ハセヌモノ。学問セヌト惡行ヲスルモノ。ノサテ学問ノ效テナ

ケレハ、忠孝仁義モヨクハ分ラヌモノナリ。

誠身ト云ハ、誠意ト同シコトナリ。意ト云モ身ノ中ナリ。大学

ヲモ以脩身為本トノ云ヲ、以誠意為本トハ書又ナリ。大学ニ誠

ヲハ如惡惡臭如好好色トアリ。コレハノ善ヲ好スルコト、好色

ノ好スル如クセヨ、惡ヲ惡ムコトハ、惡臭ヲ惡ムカ如クセヨト

云コトノナリ。然ラハ大学ノ格物致知ト云カ、明善ナルコト明

ラカナリ。明ノ吳廷翰ハノ大学中庸一致ノ書トシタ。チカイナ

イ。

孟子、堯舜、性之也。湯武、身之也。又云、堯舜、性之也。湯武、(反)之也¹⁷⁷。

大象、山上有水、蹇、君子以(反)(身)修德¹⁷⁸。○樂記、好惡無節於内、知誘於外、不能(反)(躬)、天理滅矣¹⁷⁹。○孟子、自(反)而縮、雖千萬人吾往矣¹⁸⁰。

2ウ

孟子、反身而誠、樂莫大焉²¹¹。

(2ウ)3ウ眉欄) 荀子不苟篇/曰、君子養志/莫善於誠、致誠則無他事/矣。惟仁之為/守、惟義之為/行。誠心守仁/則形、形則神、/神則能化矣。/誠心行義則/理。理則明、明/則能變矣。/變化代興、謂/之天德。天不/言、而人推高/焉、地不言而/人推其厚焉、四/時不言而百姓/期焉。夫此有/常、以至其誠(3才)者也。君子至德、/嘿然而喻、未施/而親、不怒而/威。夫此順/命、以慎其/獨者也。善之/為道者、不誠/則不獨、不獨/則不形、不形/則雖作於心、/見於色、出於/言、民猶若未/從也。雖從必疑。/天地為大矣、不/誠則不能化万/物。聖人為知/矣、不誠則不/能化万民。父/子為親矣、不/誠則疏。君上/為尊矣、不誠/則卑。夫誠/者、君子之所守/也、而政事之本/也、唯所居以(3ウ)其類至。操之/則得之、舍之則/失之。操而得之/則輕、輕則獨/行、獨

行而不/舍、則濟矣。濟/而材盡、長遷/而不反其初、
/則化矣²²²。

聖人ノ大至誠ヲ説ク処ナリ。誠ノ上ノ誠ヲトクナリ。

誠者天之道也誠之者人之道也

(*1右) 至誠ノ人ノ生知

(*1左) 堯舜性ノ處²³

(*2右) 天然自然無念無/想ノ処

(*2左) 天然自然ノ道德

(*3右) 学知

(*3左) 湯武反之ノ処²⁴

(*4右) 善也、道也。

誠ハ天性自然ノ道德ト云コトヲワリテ、下文ニハ誠者性之徳也²⁵トアリ。誠ハ偽ノ字トセナカアハセ。樂記、著誠去偽、礼之辞也²⁶トアリ。

誠者不勉而中不思而得從容

(*1右) 生知安行²⁷ノ人ハ(*2右)ツトメ行フトモ思ハス。

(*1左) 論語ノ仁者、中庸ノ誠者ト同シコトシヤ。

(*3右) 行テ云。

(*3下挿入) 道²⁸

(*4右) 思案工夫ヲ用ス。

(* 5 右) 知テ云。

(* 5 下挿入) 道 ^(2e)

(* 6 右) ユツタリ氣マ、ノホウタイヲシテノヨリテモ (* 6 左)

從心之所欲、不ノ踰於矩ト云カノ從容中道コトノシヤ。

(* 6 右又) 酒ノミカ酒ヲノムカ如クノ苦勞トモヲモハス、下戸

ハノツラクテナラス。

中道聖人也 ^{*1 *2}

(* 1 右) 聖人ノ大至誠ノ処シヤ。

(* 2 下) 道ト云モノハ、少シノコトテチカフ。佛法ノ羊ニ、酒

ハアノシキモノシヤカラト、飲酒戒ヲタツル。聖人ハ

ノムモノシヤカラノメ、シカシ酒無量不及乱ニノムカ

ヨイトアル。ノ此等モ佛ト聖人ノ道ハチカフモノシヤ。

3 才

誠之者擇善而固執之者也 ^{*1 *2 *3 *4}

(* 1 右) 学知利行ノ人

(* 2 右) 学問ノコト。

(* 2 右又) 回之為人也。擇乎中ノ庸ト云ハ、擇善ト云コト。

(* 2 左) 大学格物致知ノコト。ノ止テ至善ト云コト。止ハ固ク

執テ動カヌコトナリ。ノ荀子、萬物無足以傾謂之固ト

アリ ⁽¹⁰³⁾

(* 2 左又) 善ハ孝弟忠信ノコトナリ。

(* 3 右) 固執トハ行コト。固クトハ不易ノコト也。ノ拳拳服膺

⁽³¹⁾ナリ。

(* 3 左) 固執ハ庸ナリ。固執セサレハ庸ナルコトアタハス。

(* 4 下) 学問ヲシテ固ク不ノ易トリ行フ人ハ、学知ノ利行ノ人

シヤ。

学知利行ノ法ヲトク。

博学之審問之慎思之明辨之 ^{*1 *2 *3 *2}

(* 1 右) 知ナリ。

(* 1 左) 格物 周書本典、召公謂、周公曰、嗚呼朕ノ聞武考、

不知乃問、不得乃学 ⁽³²⁾。

(* 2 右) 道

(* 3 右) 致知

(* 3 左) 道ハ、トウイフモノトノ思案スル。

篤行之 ^{*1 *2}

(* 1 右) 行ナリ。

(* 2 下) 論語、博学而篤志、切問而近思。仁在其中矣 ⁽³³⁾トア

リ。ノ仁ハ行ナリ。行其中ニアリト云コトナリ。

困知勉強以下ヲ云。

有弗學^{*1}学之弗能弗措也^{*1}有弗問

(* 1 右) 解置ナリ。 / ヤメテステハ / セヌ。

問之弗知弗措也^{*1}有弗思^{*1}思之弗得

(* 1 右) 思ハサルコトアリ。 思ヲ、ト云日ニハ意得セ子ハヲカヌ。

3ウ

弗措也^{*1}有弗辨^{*1}辨之弗明^{*1}弗措也^{*1}有弗

行行之弗篤^{*1}弗措也^{*1}

(* 1 下) 以上学知利行ノ人ヲ云。

以下八困知勉行ノ人ヲ云。

人一能之己百之人十能之己千之果

能此道矣^{*1}雖愚必明^{*2}雖柔必強^{*3 *4}

(* 1 右) 十タヒスル処ヲ千タヒスル羊ニスルト、ナニコトテモ

(* 2 右) 知

(* 2 左) 智者ニナリ。

(* 2 左又) 其行八仁トナルナリ。

(* 3 右) 篤行之ナリ。

(* 4 右) 勇

(* 4 左) 勇者ニナル。

自誠^{*1 *2 *3}明^{*4 *5 *6}謂之性^{*4 *5 *6}自明^{*4 *5 *6}誠^{*4 *5 *6}謂之教

(* 1 右) 生知 / 誠者

(* 1 左) 堯舜ノ羊ナルモノ。

(* 2 右) 天性自然ノ誠ナル者。

(* 3 下挿入) 道

(* 4 右) 天性ノ人ナリ。

(* 5 右) 学知 / 誠之者

(* 6 下挿入) 善

古注集註トモニ聖人ノ徳、賢人ノ学問^{③④}。

4才

誠^{*1}則明^{*2}矣^{*3}明^{*3}則誠^{*4}矣^{*4}

(* 1 右) 天性自然ニ誠ナル人ナレハ (* 3 右) 学問ヲシテ善ニ

明ナレトモ / ヤハリ誠ニナル。

(* 2 下挿入) 善

(* 4 下) 孟子曰、盡其心者、知其性也。知其性、則知 / 天矣。

存其心、養其性、所以事天也。殀 / 壽不貳、脩身以俟

之、所以立命也^{③⑤}。

此八三知三行ノ処ト同シ味イニシテアルナリ。自誠明生知、自

明誠学知、誠則明矣、明／則誠誠矣力行トナル。及其知之一也、及其行之一也ト云モノナリ。

天性自然ノ誠ナルモノヲ云。

唯天下至誠為能盡其性能盡其性^{*1}

(* 1 右) 堯舜ヲ云

(* 2 右) 至テ誠ナル人ハ

(* 3 右) シツクス

(* 3 左) 孟子ノ盡心ト同シコト。

(* 3 右又) 盡其性ハ孟子性善³カ註解ナリ。

(* 3 左又) 性善ト云カ本心ナリ、良心ナリ、此ニ云徳性ナリ。

／仁義礼智、非由外鑠我也、我固有之也。

(* 4 右) 己力性

(* 5 右) 天ヨリ得タル所ノ自然ノ性ヲシツクスモノシヤカラ、

ソレカラハ (* 5 左) 人ノ性ヲツクサシメル。

則能盡人之性能盡人之性則^{*1}

(* 1 右) 己力性ヲシツクスカラ、人マテモ性ヲシツクス羊ニ

スル。コレカ教シヤ。(* 1 左) 天然自然二人カ天ヨ

リ得タル所ノ性ヲシツクサセル羊ニスルカラノワル

イコトヲセヌ。コレカ教ユルシヤ。／人カ人欲ニ陥溺

スルモノヲスクフシヤ。天地カ大徳ナレハ、草木ニ花

モサカセ、実モナル羊ニスル。

(* 1 右又) 善心善性ヲ、トリ失ハヌ羊ニノスルコト。

(* 2 右) ヨク人ニヲシヘテ、善心善性ヲトリ失ハヌ羊ニノヲシ

ユルトキハ、ソレカラハ草木鳥獸ニマテモ及フ。

4ウ

能盡物之性能盡物之性則可以^{*1}

(* 1 右) 鳥獸草木マテ、ヨクソタツ羊ニスル。／時ナラサルト

キニ殺シタリキツタリノスル羊ナコトヲハセヌ。

(* 1 左) 又舟車ニ作ルヘキモノハ、ソレソレニツカフハ、其

性ヲツクスノタ。馬ハハシルモノノ故ソレニツカイ、

牛ハ重ヲ負フ故ニ、物ヲノヲハセ、車ヲ引カス。コレ

カヤハリ物ノ性ヲツクスノタ。(眉欄) 書云、天降

ノ下民、作之君、／作之師。惟ノ曰其助上帝、／寵之。

(* 2 右) 草木鳥獸ノ性ヲツクスト云ハ、草木ヲキルニモ時アリ。

／ヨク成長シテトル。鳥獸モ孕ヲハ殺サス。イケニハ

モ孕トキハノ用ス。牛馬ヲツカフモ其性ヲツクスナリ。

(* 2 左) 盡其性 孟子ノ盡其心者、知其性也ト同。天ヨリウケ

エタノ仁義ノ良心ヲツクスナリ。説卦ノ窮理盡性至命

³ノ所ナリ。／繫辭ニ成性存存³、孟子、養其性

ト同シコトシヤ。仁義ノ良ノ心ヲツクスナリ。梅桃ノ

花ヲ開ヘキ天性アレトモ、窮陰沍寒ノ地ニ植レハ、

花開カヌナリ。人モ此ト同シ。寒陰ハ人欲ナリ。日ア
ノタリ、暖氣ハ学問修行ナリ。聖人学問ノ功ヲカラス
シテノウマツキテ仁義ノ良心ヲ行ナリ。日アタリノヨ
キ所ニ花サクカノ如ク其性ノ仁義ヲツクスナリ。舜自
仁義行、非行仁義。ノ大学ノ明德ハ己力性ヲツクスナ
リ。新民ハ人ノ性ヲツクスナリ。ノ賞罰ヲ行テ、礼樂
刑政ノ道德ヲ行テ、天下ノ人ニコトコトク其ノ性ヲツ
クサセルナリ。盡性ハ克明ノ峻徳ナリ。盡人之性ハ、
黎民於ノ變時雍ナリ。

贊天地之化育可以贊天地之化

(*1右) 造化ノ雨露ノメククノ如ク。

(*2左) 生育

育則可以與天地參矣

己力天ヨリ得タ性ヲ盡スヨリ、人ニモ性ヲ盡ス羊ニナサレ。人
ニモ性ヲ盡ス羊ニナサレテ、ノソレヨリ鳥獸草木マテモ性ヲツ
クス羊ニナレハ、天地ノ造化生育ヲモ、タスケラル。ノシテ
見ルト天下同シ徳トナルカラ、天地ト三ツカナハニナルシヤ。
ノコレニテ人皆天性ニ出ルコトヲシラヌナリ。

5才

説卦、窮理盡性以至於命。

又云、昔聖人之作易也、幽(贊)於神明而生蓍(40)

大禹謨、益(贊)于禹 咸人序伊陟(贊)于巫咸(41)

左傳僖二十二年、宋子魚曰、勅敵隘而不列、天(贊)我也(42)。

礼運、聖王之所以順、山者不使居川、不使渚者居中原、而弗敵

也。用水火金木、飲食必時。分男女、頒爵位、必當年徳。用

民必順。故無水ノ旱昆蟲之災、民無凶饑妖孽之災(43)。

孟子、不違農時、穀不可勝食也。數罟不入汚池、魚鼈不可勝用

也。斧斤ノ以時入山林、材木不可勝用(44)。

又云、五畝之宅、樹之以桑、五十者可以衣帛。雞豚狗彘之畜、

勿失其時、ノ七十者可以食肉矣。百畝之間、勿奪其時、數口之

家可以無飢矣(45)。

繫辭、服牛乘馬、引重致遠、以利天下、蓋取諸隨(46)。

又云、剡木為舟、剡木為楫、舟楫之利以濟不通、蓋取諸睽(47)。

王制、獺祭魚、然後虞人入澤梁。豺祭獸、然後田獵。鳩化為鷹、

然後ノ設罝羅。草木零落、然後入山林。昆蟲未蟄、不以火田、

不麝、不卵、不殺胎、不殀天、不覆巢。

5ウ

又云、田不以礼、曰暴天物。天子不合圍、諸侯不掩羣。

又云、林麓川澤、以時入而不禁。又云、用民之力、不過三日。

又云、使民、任老者ノ之事、食壯者之食。○又云、五方之民、

言語不通、嗜欲不同。達其志、通其欲。又云、凡居民材、必因

天地寒煖燥湿、廣谷大川異制。民生其間者異俗。ノ剛柔輕重遲

速異齊、五味異和、器械異制、衣服異宜。脩其教、不易其俗。齊其政、不易其位。

△孔子間居、子夏曰、三王之德、(參)於天地「祭統」天子者、與天地參。故「德配天地、兼利百物」荀子王制「天地生君子、君子理天地。君子者、天地之參也、萬物之總也、民之父母也。無君子、則天地不理。○又天論「天有其時、地有其財、人有其治、夫是之謂參」(480)。

易大象、天地交、泰。后以裁成天地之道、輔相天地之宜(490)。生之有地、居之有處、取之有時、用之有節、使之有法制之有則盡物之性也(500)。

論語、立、則見其參於前也(510)。曲礼、離坐離立、毋往參也(520)。

6才

其^{*1}次^{*2}致^{*3}曲^{*4}曲^{*5}能有誠誠則形形則

(* 1 右) 誠ノ次ナルモノ。

(* 1 左) 学ヲ至誠聖ノ人ニナル人、湯ノ武ヲ云。

(* 2 右) 修行ナリ。ノ礼儀ノ委曲ヲイタシキハムルナリ。ノ不明善不誠其身ノ處、大学ノ如惡惡臭ノ如好好色ノ所ニテ、惡事ヲスレハ、ワルト云コトヲシレハ、惡事ノヲハセスナリ。

(* 2 左) 道理ノ委曲。道ハ至テ委曲ニテツフサナルモノ。其ツ

フサナル道ヲキクメイタス。ノ大学ニ格物ナリ。格物ト云字ハ大学ヨリ外ナシ。致曲ト云字ハ中庸ヨリ外ナシ。何モノ道ヲイタシツクスコトハ、礼ノ礼器、漢書藝文志ニ物曲ト云字アリ。ニツニワリテカイタノモノシヤ。

(* 3 右) 本心ノ誠ヨリ行フ羊ニナル。

(* 4 右) 学問シテ道カノアキラカニナリタル所。

(* 5 右) 己カ心ニ誠カアレハ容兒ニノアラハレル。孟子、粹然見於面、盎於背。施於四體、四ノ體不言而喻カ形ノ字ノ注也。

(* 5 左) ワカ、カラタニ仁義礼智カアラハレル。

著^{*1}著^{*2}則^{*3}明^{*4}明^{*5}則^{*6}動^{*7}動^{*8}則^{*9}變^{*10}變^{*11}則

(* 1 右) (家)

(* 1 左) 家ニアラハレ、國ニアラハレ、天下ニアラハレル。ノ

父母ニヨク兄弟ニモ夫婦ニモノアラハル、ナリ。

(* 2 左) (國)(天)(下)

(* 3 左) 感動ノ孟子、至誠而不動者、未之有也。ノ上テ、カ羊ニ孝心カアル。又、カ羊ニ質素ニナサル、トノ感動スルト、コレマテノ不孝ヤコリヲ變シテヤノメマス。

(* 4 左) 變シテヤメルコト

化唯天下至誠為能化^{*1}

(^{*1}左) 其事二ナリヲ、セルコトナリ。

(^{*2}左) 人ヲ變化スルコトナリ。

(^{*2}下) 孟子ニ、伯夷、柳下恵ヲモ聖ト云モノハノ聞柳下恵之

風者、鄙夫寬、薄ノ夫敦ト云ニヨル。コレ變化ノ義ナリ。

形、著、明ハ、大学ノ明明徳ナリ。動、變、化ハ、新民⁽⁵³⁾ナ

リ。礼ノ礼器、天時有生也、地理有宜也、人官有能也、物曲有

利也⁽⁵⁴⁾。

漢書藝文志、物為之制^{*1}、曲為之防^{*2}(^{*1}右)事(^{*2}右)委

致曲ハ、格物ヨリ誠意ニ至ルト同シキナリ。不明於善則不誠身

トアリ。

6ウ

礼記、經礼三百、(曲)(礼)三千、其致一也⁽⁵⁵⁾。(^{*1}右)大經

ノ礼 (^{*2}右)委曲ノ礼

曲礼、(曲)礼、毋不敬⁽⁵⁷⁾。○荀子正論、子宗子嚴然而好説、聚

人徒、立師学、ノ成(文)(曲)⁽⁵⁸⁾。○周語、夫礼之立成者為飭、

昭明大節而已、(少)(曲)與焉⁽⁵⁹⁾。

樂記、和順積中而英華發外⁽⁶⁰⁾。孟子、君子所性、仁義礼ノ

智根于心。其生色也、皦然見於面、益於背。施於四體、四體ノ

不言而喻。孟子、至誠而不動者、未之有也。不誠、未有能動

者也⁽⁶¹⁾。

莊子漁夫、不精不誠、不能動人⁽⁶²⁾。学記、發慮憲、求善長、足

以諛ノ聞、不足以動衆。就賢體遠、足以動衆、未足以化民⁽⁶³⁾。○

革九二、大人虎變、象云、大人虎變、其文炳也。上六、君子豹

變、小人革ノ面。象云、君子豹變、其文蔚也。小人革面、順以

從君也⁽⁶⁴⁾。

論語、動之不以礼、未善也。又云、動之斯和⁽⁶⁵⁾。

孟子、可欲之謂善、有諸己之謂信。充實之謂美、充實而有光輝

之ノ謂大、大而化之之謂聖、聖而不可知之謂神⁽⁶⁶⁾。

堯典、克明俊德、以親九族。九族既睦、平章百姓。百姓昭明、

7才 協和「萬邦。黎民於變時雍⁽⁶⁷⁾。

荀子不苟二、君子養心莫善於誠、則無他事矣。唯仁之為守、ノ

唯義為之行。誠心守仁則形、形則神、神則能化矣。誠心行義則

ノ理、理則明、明則能變矣。變化代興、謂之天徳矣⁽⁶⁸⁾。

又、善之為道者、不誠則不獨、不獨則不形、不形則雖作於心、

ノ見於色、出於言、民猶若未從也。雖從必疑。天地為大矣、不

誠ノ則不能化萬物。聖人為知矣、不誠則不能化萬民。父子為親

矣、ノ不誠則疏。君上為尊矣、不誠則卑。夫誠者、君子之所守、

政事ノ之本也⁽⁶⁹⁾。

十月七日⁽⁷⁰⁾

此八天性自然ノ誠テアルモノテ云。此次誠之者テ云ノ二説アリ。

古注ナトハ、至誠ノ聖人ノ人ハ前ヒロニ、アスアサツテノコトヲ

今日知ルト云。此一説。

至誠之道可以前知國家將興必

又一説八人ヲ以テ云ニアラス。至誠ノ事ハ至夕誠ト云モノ。前方トニシレルモノシヤ。天ノ地ノ間、至誠自然ノコトハ前ニ知レル。其徴ハカヤウシヤト云コト。

物理ニ通シテ前識スルト、鄭玄ハ聖ノ字ヲトイタ。老子ハ前識ト云コトハワライトノ聖人ヲ非トセリ。

7ウ

國家ノマサニヨコラントスルトキハ、前方トニ其カゲカ見ハレルコト。ソレハ目出度前表カラハレル。

有禎祥國家將亡必有妖孽

(*1左) キチズイ

(*2左) 國家ノ滅亡セントスルトキハ、必其惡事ノカケホウシカラハレルノナリ。コレ皆物ノ前表ナリ。

(*3右) フキツ

此ハ皆天然自然ノ至誠ノコトニテ、前方ニシレル理カアルナリ。

國語ニモ周語云、ノ昔夏之興也、祝融降於于崇山。其亡也、回祿信於聆隧。商之興、檮杌吹ノ於丕山、其亡、夷羊在牧。周之興也、鸞鷲鳴於岐山。其衰也、杜伯射ノ于于郊。又、昔伊、洛、

竭而夏亡、河竭而商亡。山崩川竭、亡之徴也。ノ是歳也、三川

竭、岐山崩。十一年、幽王乃滅、周乃東遷⁷¹。

祥ノ字ハ、目出タキコトニモ、アシキ前表ニモ用ルナリ。字ニヒロキセハキノノ意アリ。美ノ字ニテ見ルキナリ。花ノウツクシキニモ、女ノウツクシキニモ、サカナノコトニモ、サケノコトニモトイテアル。艶ノ字ハセハシ。花ノコトカ、女ノコトヨリツカハレヌ。ノ神ハヒロシ、祇ハセハシ。西京雜記ニモ、禎祥妖孽ノコトヲヨクトイテアルナリ。メトキヲトツテトスレハ、ソレニ善惡アラハレ、龜ヲヤイテトスレハ、ヤイタルカメニアラハル。

見乎著龜動乎四體

8オ

鄭玄ハ、四體ヲカメノ足ト見タハ惡註ナリ⁷²。(眉欄) 孟子見梁襄ノ王。出、語人曰、望ノ之不似人君、就ノ之而不見所畏。ノ卒然問曰、天下惡乎定。ノ論語、君子正其ノ衣冠、尊其ノ瞻視、儼然人ノ望而畏之。

左傳定十五年、邾隱公來朝焉。子貢觀焉。邾子執王高、其容仰、公受ノ玉卑、其容卑、子貢曰、以礼觀之、二君皆有死亡焉⁷³。

周語、柯陵之會、單襄公見普厲公視高步厲。單子曰、晉將有ノ乱⁷⁴。中ニ誠カアレハ、外四體ニ其カタチアラハレルヲ云ナリ。此三公死亡セノントスルヤ、乱アラントスルモ自然ニ進退周旋ニアラハル、ナリ。

禍福ノ来ルト云モノ、シレヤスイモノシヤ。ソレカ来ヨフト云前

ヒロニ其ヒトノナスワノサテシレル。善ヲスル人ナラハ、福カ来ル。悪ヲスル人ナレハ、禍カクル。カセク人ハ身上カヨクナル。アソシテアル人ナラハ貧乏スル。何ノソウサモナイコトシヤ。政テアレ事テアレ、ヨイ（經文左）コトスレハヨイコトノクルニチカイハナイ。

禍福將至善必先知之不善必先知之

- (* 1 左) 其人ノ善テ
- (* 2 右) マイヒロニ
- (* 3 左) 福ノ来。
- (* 4 左) 善ニ從フトキハ吉、逆ニ從ハ凶トナル。
- (* 5 左) マイヒロニ
- (* 6 左) 禍ノ来ル。

故至誠如神

- (* 1 右) サヤウシヤカラ
 - (* 2 右) ハカリシルヘカラサルコトヲモ神ト云。又前知スルヲモ神ト云。ノ繫辭云、神以知来、知以藏往。又云、知幾其神ノ乎。
- 此一句人ヲサス。凡人胸中ニ邪見私欲アリテハ、未来ヲ前知スルコトハテキヌ。（眉欄）凡人タルモノハノ天下國家ノ存、人ノ興廢ノカ前知サルレハヨキナリ。何ニモ細カナコトヲ知ル

ニハ及ハヌナリ。

說文曰、衣服、歌謠、草木之怪、為妖。鳥獸、蟲蝗之怪、為孽。孔云、禎祥、吉之萌兆。本有今無曰禎、國本無鳳、今有鳳。8ウ「来、是也。妖孽、謂凶惡之萌兆、妖傷也、傷甚為孽、左傳、地ノ物為妖。

五行志、凡草木之類謂之妖。妖猶大胎、言尚微。「蟲豸之類謂之孽。孽則牙孽矣。及六畜謂之禍、言其著也。及人、謂之痾。痾、病兒、言言寢深也。甚則異物生、謂之眚。自外来、謂之祥、祥猶復也。氣相傷、謂之沴。沴猶臨蒞、不和意也。

學問シテ誠之ノ人ヲ云。

誠者自成也而道自道也

- (* 1 右) (主)
 - (* 2 下挿入) 己ノ字ヲイレテ見ルヘシ。
 - (* 2 右) 己トハ己カ心術ヲ云タモノシヤ。心術ヲ成就スルナリ。
 - (* 3 右) (客)
 - (* 4 下挿入) 己
 - (* 4 右) ミチビクカ如キナリ。
 - (* 5 下) 論語ニハ、主客ノ文ナシ。大學、ノ中庸、孟子ニハ多クアルナリ。
- 道ト云モノハ、天下ノ人ヲ導ク道ナレトモ、人ヲ導クニハ、人ヨリ我先ツノ道ニ合フヨウニシテ、後二人ヨミチヒクカヨイ。

誠ハ己ノ徳ヲナスナリ。道ハ己ヲ道クナリ。己成ツテ後、人ヲ誠ニシ、又己ニナル。道テ人ヲミチヒクモノナリ。

誠者自成也ト云ハ、誠ヲ成ト同音テトイタモノシヤ。仁人也、義宜也、礼ノ履也ト云ノ類ナリ。成己ハ心ナリ。成物ハ行ナリ。

孟子、萬物皆備於我ト同シ。心ヲヨクスルハカリニアラス。万事ノ行マテモヨクスルナリ。

9才

ホンマノ誠ニナレハ、終始カハルト云コトナク、誠ノ道ヲイタシマス。イツハツテ誠ノフリヨスルモノハ、人ノ見ルトキハカリテ、ソウハツ、キマセヌ。○中心ノマコトカラスルモノハ、一生カハリマセヌ。始カ

誠者物之終始不誠無物是故君子

ラヲハリマテカハリマセヌ。物ハ大学ノ格物ノ物ヲ云。○誠ナラ

スシテイツハリナレハ、今日トアストハカハリマス。ソレカラ

道ニハツレテ無物トナリマス。スヘテイツハツテスルコトハ事ノ

道理ニカケルカラ、孝テナク、忠テナク、義テモ仁テモナクナリ

マス。ソレカ無物シヤ。物ト云ハ、萬事ノ行ヲ云。又道ヲサス

身ノ行ヲ云。イツハリハ始アツテヨハリナキモノナリ。詩ノ大

雅、靡不有初、鮮克有終、此モ前ノ己ハ己方心ノ術ヲ云。後ノ物

ハ、身ニアラハル、行ヲ云タモノシヤ。△孟子、恭儉豈可以声

音笑貌為乎トアリ。

誠之為貴

(*1左) 本心ノ誠カラスルヲ貴トスル。

(*2左) 道ヲサス百行諸行ノコト。

孟子、舜明於庶物、察於人倫。哀公問、夫婦別、父子有親、

君臣ノ有嚴。三者正、則庶物從之矣。孟子、萬物皆備於我矣、

反身而誠、樂莫大焉。

④己、己之身、視聽言動、喜怒哀樂之類。

自然外與道合者、是誠也、内也。

④物、身之行事、孝弟忠信仁義礼樂之類。

自然與内合者、是誠也、外也。ノ己ハ己

方心術。

誠者非自成己而已也所以成物也

(*1右) 本心ノ誠ト云モノハ

(*1左) 孟子ハ、本心ヲ仁ト見タ。為仁由己、而由人乎哉。

(*2右) 己ハカリナステハナイ。

(*3左) 萬事ノコトヲ成就スル所以シヤ。

(*4上挿入) 萬

(*4右) 万物ハ諸行ノコト。

(*4左) 諸行

成己仁也成物知也性之德也合外^{*1 *2 *3 *4 *5 *6}

(* 1 右) 成仁ハ、為仁由己、而由人乎哉^{8.3.0}。

(* 1 左) 仁ヲ本心ト見タモノ。論語、三月不違仁ト云タモノ同

シコトシヤ。

(* 2 左) 萬事ノ行ハ知テナケレハナラヌナリ。孟子ニ、堯舜ノ

知而不偏物、先ノ急務也^{8.4}。皆知惠ヲハタラキテスルナリ。

(* 3 左) 諸行

(* 4 左) 天性自然ノ道德ナリ。ノ孝弟仁義ヲスルコト、酒ノミ

カ酒ヲノム如ニスルノナリ。物ハ孝弟忠信ヲ云ナリ。

ノ誠之モノテモ、今日モアスモトツモリツモリテノナ

ストキハ、ナレテシヤウトモナサウトモ思ハス。ノ孝

弟仁義カ出来ル。コレカ天性自然ノ道德シヤ。

(* 4 右) 誠ノ字ト同シキナリ。

(* 5 右) ㊦^{8.5}ノ一致ナリ。一致セサレハノ偽也。

(* 5 左) 自然ト己ト万事ノコトカ一二ナル。

(* 6 右) 物

(* 6 左) 行

内之道也故時措之宜也^{*1 *2}

(* 1 右) 己

(* 1 左) 心 心ト行ト一致ニナルナリ。

(* 2 右) 萬事ノ上ニ誠ヲノヨクナリ。

此章カスメルト、誠ト云コトハ心行合一シヤト云コトカ知レルナリ。

時措之宜也本心ノマコトカラスルト、トチラヘ措テモトチラヘ

ムイテモヨロシイ。君ニ事ノルニモ誠ナレハ忠ニナリ、親ニ事

レハ孝ニナリ、朋友ニ交レハ信トナリ、イツレニムイテモワル

イノト云コトハナイカラ、カク云ナリ。(時)ハ君ニ事ル時ナラ

其時、父ニ事ル時ナラ其時、朋友ニ交ルトキナラノ其時ニ用ル

ナリ。

此ハ天性自然ノ誠ナルモノヲ云。此ハ聖人ノ徳ト天地トハ同シモ

ノシヤト云処ヲコシノラヘテ見セタモノシヤ。聖人ハ天地ト一致

ナモノシヤト云タハ、チカイナイコトシヤ。

故至誠無息^{*1}

(* 1 左) トヤミノナイコト。

(* 1 下) 無息ト云ハ、中庸ノ庸ニテカハラサルナリ。

シヤウトモナントモ思ハス自然ニスル誠ナレハ、トヤミト云

ハナイ。イツハツテスル誠ナレハノトヤミカアルナリ。

10才

乾ノ大象、天行健、君子以自強不息^{8.6}、コレ君子天ノ行健ナ

ルニ、法ヲ勉強シテヤメノヌコト。(10才眉欄) 哀公問、公曰、敢問ノ君子何貴乎天ノ道也。孔子對曰、ノ貴其不已也。ノ如日月東西ノ相從而不已也、是天道也。ノ不閉其久、是ノ天道也。無為ノ而物成、是天ノ道也。已成而ノ明、是天道也。

聖人ハ、イツマテモトヤミカナク誠テコサルカラ久シイ。サテ久シキトキハ徵カアラハレテ、舜ノ聖ノ人ヲ民力知テ歸服スル。

不息則久久則徵^{*1}

舜ハ民間ニテ親ニ孝ヲヨツクシナサレル。中心ノ誠カアタリタルモノ故、其誠カノ自然ニアラハレテ天子トヨナリナサレタ。是久シキトキハ徵アル道理シヤ。

(^{*1}右) シルシカアル。

(^{*1}下) 恒象、恒、(久)也。恒亨无咎利貞、久於其道也。ノ天地之道、恒久而不已也。利有攸往、終則有ノ始也。日月得天而能久照、四時變化而能久成、ノ聖人(久)於其道而天下化成。

月得天而能久照、四時變化而能久成、ノ聖人(久)於其道而天下化成。

シルシカアレハ遠方マテアラハレル。光被于四表ノ類ナリ。ノ悠遠土地テ云トキハ夷狄、歲月テ云トキハ千古ナリ。

徵則悠遠

悠遠則博厚博厚則高明^{*1}

(^{*1}右) ヒロクアツク地ノノ羊夕。

(^{*1}左) 四方

(^{*2}右) 四方照臨

(^{*2}左) 高ク明ニ日月ノ羊シヤ。ソレカノ天シヤ。

坤大象、地勢坤。君子以厚德載物。坤象、坤厚載物。

10ウ

聖人ノ德、博厚ニテ萬事ヲノセテ御生ノレナサル、ナリ。

博厚所以載物也高明所以覆物也^{*1}

(^{*1}左) 地

(^{*2}右) 萬事

(^{*3}右) 天

(^{*4}右) 萬事ノ德ヲオ、テ御生ノナサル、ナリ。

下文辟如天地之無不無不持載無不覆。

悠久所以成物也^{*1}

(^{*1}右) ハルカニヤスク久シケレハ、事ノヲ成就スル。

(^{*1}左) 聖人トヤミナク孝弟仁義ヲナサル、モノ故ニ、物ヲ成就スルワケシヤ。

就スルワケシヤ。

(^{*2}右) 事ヲ成就スル所以シヤ。

博厚配地高明配天悠久無疆^{*1}

(* 1 右) 聖人ノ博厚ハ、地ノ博厚ニ配スルナリ。

(* 2 左) 聖人ノ高明ハ、天ノ高明ノニ配スルナリ。

(* 3 左) 聖人ノ悠久ハ、天ノ無疆ノニ配スルナリト、語ヲツメ

テノ云タルモノナリ。

坤象、坤厚載物、徳合無疆。又云、牝馬地類、ノ行地無疆、

又云、安貞之吉、應地無疆。①②。

11才

此ヨリハホメ辞ナリ。

如此者不見而章不動而變

(* 1 右) 此方ヨリ徳ヲアラハサストノ思召サ子トモアラハレ。

(* 2 右) 人ヲ感動サセ羊ト思召ノサ子トモ、自然ニ変シテ化ノ

シマスル。コレハ其徳ニ感動 (* 2 左) スル故ナリ。

無為而成

(* 1 右) コチラカラコフシヤウト思ハヌニノ自然ニヲサマルコ

ト。

(* 2 右) 徳化ノ成就スルコト。

(* 2 下) 此章ノ章ハ形著明、變成ハ動變ノ化ナリ。

論語ノ無為而治ト同シキナリ。

荀子不苟、天不言而人推高焉、地不言而人推其厚焉、四時不言

而百姓期焉。①②。

論語、無為而治者、其舜也與。夫何為哉。恭己正南面而已。①②。

手ヲツカ子テヲイテモ、己方徳カヲサマレハ、ヲサマル

ト云コト。

老子、聖人處無為之事、行不言之教。③④。

老子一書、言無為者多矣。是老子之無為、與經言自別。ノ舜

之無為、言任官之當、與本篇之言、亦稍不同。讀宜細辨焉。⑤⑥。

11ウ

此テ天地ノ誠ヲトイタモノ。古一字ヲモ一言ト云、一句ヲモ一言

ト云。思無邪一句ノ其恕乎一字

天地之道可一言而盡也其為レタル天地之道

可一言而盡也其為レタル物不貳

易ノ乾象傳ニ天道ヲ云、又聖人ヲ云ト同例シヤ。ノ一ト云処ハ鬼

神ヲ帶タモノ、一ズナル処ニ鬼神ノヲ帶テアルト云ハ、不測ノ二

字ニ含テアル。繫辭ノ陰陽不測之謂神。⑦⑧、此ニ生物不測ト云ハ

ハ、此鬼神ノコトヲ帶タル徴ニアラスヤ。鬼神ノト云モノハ誠ニ

シテイツハリナク神妙ナルモノナリ。ノ物イツハレハ二三トナル。

誠ナレハ一ナリ。

(* 1 右) 誠ノ一字

(* 2 右) 天地ノコトタル純一ナルモノニテ、フタコ、ロハナイ。

(* 2 左) 其天ノ物タル、不貳シテ一スシノナモノシヤ。一スレ

ハ誠シヤ。

(* 2 左又) 不貳トハ一ト云コト。

(* 3 左) 天ノ事ナリ。

則其生物不測

*1 *2

(* 1 左) 鳥獸草木

(* 2 右) 神ナリ。

左傳莊三十二年、神、聰明正直而(壹)也、依人而行(97)。

楚辭、(壹)氣孔神兮、於中夜存(98)。○國語、内史過云、天神

(壹)不遠徙遷焉(99)。

呂覽論人、知精神知神、知神之得得(一)。凡萬形、得一後成(100)。

楚語、民之精爽、(不)(儻)(貳)者、而又能齊肅衷正、如是則明

神ノ降之(101)。

祭統、夫祭之為物大矣、其興物備矣。註為物猶為礼也。興物ノ

謂薦百品。上之物者、礼事也。下之物者物品也。一章之文前

12才 後「異議、與本篇同也(102)。

天地之道博也厚也高也明也悠也

*1 *1 *2 *2 *3

(* 1 右) 地

(* 2 右) 天

(* 3 右) 天地共二

⊕爾雅釋山、河南曰華、河西曰嶽。嶽八禹貢ノ岍山ナ

リ。ノ國語西吳山(103)。コレハ河水海水ニ對シテ
カクナリ。

久也

今天斯昭昭之多及其無窮也

*1

(* 1 右) 一尺四方位カラアカルクナツタノカ大キクナツタ。

日月星辰繫焉萬物覆焉今夫地一

*1 *2

(* 1 右) 天ノ字ヲサス。

(* 2 右) 鳥獸万物ヲサス。

撮土之多及其廣厚載華嶽而不重

*1 *2

(* 1 右) ⊕華山ノ華山記、削成五千仞トアル石山ナリ。

(* 1 左) 華山嶽山ハ石ヤマニテ、上州ノ妙義ノナトノ羊ト見ハ

テ、重イト云コトテ泰山ヲハ云ス。

(* 2 右) 嶽山

12ウ

振河海而不洩萬物載焉今夫山一卷(二石)

*1 *1 *2 *3 *4

(* 1 右) 水

(* 2 右) 地ヲサス。

(104)

(*3右) 一二キリノコブシノ如キノ石ノ多クナツタシヤ。

(*4左) 拳ト通。

之多及其廣大草木生之禽獸居之

寶藏興焉今夫水*2一勺之多及其不測*1

(*1右) 球琳琅玕ノ生シ出ス。

(*1左) 金銀ノ類

(*2右) 一合ヲ十二割リタルナリ。

龍鼉蛟龍〔魚鱉〕生焉貨財殖焉*4

(*1左) シウカク坊(106)ノノ類。大キイスツホン。

(*2右) 穿山甲ノコト、鯨鯉ノコト。

(*3左) 無角

(*4右) 珠ト云ノ玉、皆海カラ生スル。

(*4左) 真珠珊瑚樹ノ類。

天ハ從來大キナモノ。地モ從來大キナモノ。山海トテモ、モトヨリ大キナルモノ。ソレヲ此羊ニカサリヲ書タト云モノハ、入用タカラ書タモノ。此章ノ旨ハ亦ノ費隱ノ章、合ト云ナリ。コレハ費隱ノ章ニヒキアテ羊トテ、カヤウニ書タモノ。以ノ上聖人ト天地トノ博厚高明ヲ云。

13才

天ノ至誠無息ヲ説ナリ。

詩云維天之命於穆*1不*2已蓋曰天之

(*1右) 吉凶禍福ヲサス。

(*1右又) 天命ト云モノハ、善ナレハ福ヲ與ヘ、不善ナレハ禍

ヲ與。コ、カ天ノ天タルノワケシヤ。

(*2左) 幽遠ノ兒(107)。

(*2右) ヲクフカク見ヘカタイ羊タカ、トヤミノナイモノシヤ。

(*2左又) 善人カサシタル福モエス、悪人カノサシタル禍ヲエスヤウテ、トカクノクライトホイ羊ナレトモ、必ヤマンシヤ。ノ天道ハトヤミカナイ。ヤンテハタマラス。サルニヨリ當身テ災ヲウケサレハ、子孫テウケル。其ノ報應盡未來トヤミカナイ。

所以為天也

至誠ノ聖人ヤムコトナキヲトク也。

於乎不*1顯ハレ文王之德之純蓋曰文*2

(*1右) アキラカナラサランヤ。アキラカタ、文王ノ御德ノ純ナルコトハ。

(*2左) 色ニトヤミカナイカラアラハレル。ノ純トハ一色ノ糸

ノコト。ヤハリ誠ノコト。純一誠一、ヤハリ同コト。
／純ノ字ニ妙ヲフクメリ。／漢書梅福傳、一色成体、
謂之純。白黒襍合謂之駁 108。

王之所以為文也

純一ナレハトヤミカナイトヲ、コトハリナサレタモノシヤ。／サ
レトモ、スメマイカト、ヲホシメシテ、純トハトヤミノ

純亦不已

ナイコトシヤト一言ヲ以テノ人ヲサトシナサレタ。／不已トハ、
純一ト云コトニテ誠一シヤ。

13ウ

哀公問、公曰、敢問君子何貴乎天道也。孔子對曰、貴其(不
(已)。如日月ノ東西相從而(不)(已)也、是天道也。○樂記、不
息者天也、著不動者地也。○恒象、天地之道、恒久而(不)(已)
也 109。

烈文ノ詩、無競維人、四方其訓之。不顯維德、百辟其刑之 110。

十月十二日 111

誠之者ヲトク。且其極功ヲカタルモノ。

大哉聖人之道洋洋乎發育萬物峻

(*1右) 礼義ノ道ハ

(*2右) 水ノ盛ナル兒。

(*2左) 莊子ノ天地篇ニ凡テトツタ 112。

(*3右) ハツシ、ヤシナフ。

(*4左) 高大也。

極于天

(*1右) 國風ノ詩ニハ、極ノ字沢山アル。／光被于四方、格于
上下。

(*1左) キハムルトヨムヘカラス 113。

(*2下) 聖人ノ道力明ラカニ行ハレマスレハ、陰陽ノ氣ハ錯乱
スルト云コトハノナイ。聖人ノ道ハ禽獸草木萬物マテ
ニ行ワタルモノ。道カノ行ハレサレハ、川アフレ、山
崩ル、羊ナルコトカアル。

優優大哉礼儀三百威儀三千

(*1右) ユタカニアマリアル兒。

(*1左) 充塞有餘兒。

(*2右) 大戴礼衛將軍文子ノ篇ニ、經礼三百、曲礼三千。／經
礼ト云ハ、タテ糸ノ羊ナル大スジノ礼。

(*3左) 動容周旋

待其人然後行^{*1 *2 *3}

故曰苟不至德至道不凝焉^{*4 *5 *6 *7 *8}

(* 1 右) 經礼三百曲礼三千力、ナニホトケツカフテモ (* 4 左)

若シ聖人賢人テナケレハ、礼義威儀ノノリカノ行ハレ

マセヌ。故ニ論語ニモ、人能弘道、非道弘人也。

(* 2 右) 聖人賢人

(* 3 左) 國天下

(* 3 下) 其人存則其政舉其人亡則其政ノ息ノ処ナリ。

(* 5 右) 上ノ其人ヲサス。

(* 5 右又) 已ニ至タ徳力ナケレハ

(* 5 左) 聖人賢人ノ類

(* 6 右) 上ノ礼義三百威儀三千ヲサス。

(* 7 左) 國ニ天下ニ行ハレス。

(* 8 左) コリカタマルハ、ナルノ義。ノ又水ノコリカタマリタ

ルハ、ノナルノ味サタマルノ義モアル。

皐陶謨、推于五辰、庶績其凝。傳凝成也 (114)。

衛將軍文字、孔子曰、礼儀 (三) (百)、可勉能也。威儀 (三) (千)、

則難也 (115)。

礼器、經礼 (三) (百)、曲礼 (三) (千)、其致一也。註經礼謂周礼

也。周礼六篇、官有三ノ百六十、曲猶事也。事礼謂今礼也。礼

篇多亡、本數未聞、其事儀三千也 (116)。

上文、致中和天地焉(萬)(物)(育)焉。詩云、鳶飛戾天、魚躍于淵。

14ウ 言其「上下察也。能盡人之性、能盡物之性 (117)。

△堯典、光被于四表、(格)于上下 (118)。 說命、保衡先正、佑

我烈祖、(格)于皇天 (119)。ノ君爽、在昔、成湯、時則有^テ若^{カク}伊

尹、(格)于皇天。在大戊、時則有若ノ伊陟、臣扈、(格)于上

帝 (120)。 崧嵩、詩二、崧嵩維嶽、駿(極)于天。駿大也。堯ノ

典、俊德、大学作峻、夏小正云、峻大也。峻駿俊同 (121)。

△大禹謨、帝德廣運、乃聖乃神、乃武乃文。傳、廣、謂所覆者、

大ノ運謂所及者遠。 孟子、大而化之之謂聖。充实而有光輝之

謂(大) (122)。

故君子尊德性而道問學^{*1 *2 *3 *4 *5}

(* 1 右) 此力論語ノ始リト同シコト。ノ子曰、弟子入則孝、出

則弟、謹而信、汎愛衆、ノ而親仁、行有餘力、則以學

文 (* 1 左) ト同シコトシヤ。

(* 2 右) 修徳

(* 2 左) 内

(* 2 左又) 尊奉シノテ不失コトノヲ云ナリ。

(* 3 右) 仁義忠信 (* 3 左) 孝悌忠信

(* 3 右又) 孟子ノ性善ヲ徳性ト申シマスヨ。(* 3 左又) 己力

惻隱仁義ノ心カ天ヨリウケテアル徳性ヲ、尊テノ
クサヌコト。孟子、存其心ト云処、存心養性ノコト
シヤ(123)。

(* 3 左又) 樂記、徳者性之端也(124)。

(* 4 右) 講学 (* 4 左) 外

(* 4 右又) ヨルトヨム。道ハヨル所ナル故ニヨルトヨム。

(* 5 右) ヲシヘナリ。

(* 5 左) 学問ノコト。

此テ学問ノアリカタイコトカシレル。徳性カアルナラハ、学問
セストモヨサソウナノモノナレトモ、ソウテハナイ。徳性ヲ失
ハヌ羊ニシテ、ソウシテ其上ニ学問ヲナセトノ云リ。
15才

致廣大而盡精微

(* 1 右) 徳ヲ云(125)。天下ニ及フ位ノ徳ヲシテモ

(* 2 右) 徳 地ナリ。

(* 2 左) 博厚ト同。

(* 3 右) 学ヲ云。

(* 3 左) 学問ハ精微ヲツクサ子ハナラヌ。

(* 4 右) 学

極高明而道中庸

(* 1 右) 天下ニカ、ヤク羊ナル徳ヲキハメテモ

(* 1 右又) 徳ヲ云。

(* 2 右) 天ナリ。

(* 3 右) 学問シテ中庸ニヨラ子ハナラヌ。

(* 3 左) 学ヲ云ナリ。

(* 4 下) 高ケレハ佛老、下ケレハ韓非、ノ商鞅テ中ニナラヌ。

ノ中者無過不及之徳、高卑至當之道。ノ庸者経久不易
之徳、平坦不怪之道(126)。

徳ノ四方ニカ、ヤク位ナ人テモ学問セ子ハ、ヤクニ立ヌ。

中庸テハ温故ハ行、知新ハ学問。論語テハ共ニ学問ト見テヨイ。

温故而知新敦厚以崇禮

(* 1 右) 行

(* 1 左) 修徳ナリ。

(* 1 左又) 何ホト今此ニ親ニ孝行シヤウカノ天下ヲサムルコ

ト学ハ、テキマセヌ。ノ温故ハモト行フ所アタ、

メカヘシテノ行フナリ。

(* 2 右) 学問

(* 3 右) 徳行

(* 3 左) 修徳ナリ。ヨコラサルナリ。倨傲ナレハ下ヲシノク。

(* 3 左又) トコマテモアツク行ナリ。

(* 3 左又) 学問ヲ尊テ、三百三千ノ礼義ヲ知テ、天下國ノ家ニ

15ウ

行ハ子ハナラヌ。

△喪服四制、善之、故載之書中而高之、故曰高宗(127)。

首出衆人、無所不覆曰高。遠臨四方、無所不照曰明／所施之普、無所不至曰廣。所兼之遍、不可得名曰大(128)。

△論語、巍巍乎。唯天為大、唯堯則之。蕩蕩乎、民無能名焉。(大)

哉。堯之為君也。又云、(大)哉孔子。博學而無所成名(129)。

文言、乾始能以美利利天下、不言所利、(大)矣哉(130)。

△樂記、(德)者(性)之德也。樂者德之華也(131)。

△繫辭、(精)(義)(入)(神)、以致用。利用安身、以崇德也。又、

非天下之(至)(精)、／其孰能與於此(132)。楚語、民之精爽

左傳、心之精爽(祭義、／百物之精)、皆言精神精靈也(133)。

山海經、風(道)北來、乃大水泉。郭璞注、道從也。韓非子玄鶴

二八、(道)／南方而來。亦訓道為從(134)。升庵云、道猶從也。

升庵

16才 又云、道字訓從「由。中庸、極高明而(道)中庸。礼記、(道)

之而有功。文選東京賦、／回行(道)乎伊闕、邪徑健乎轅轅。皆

訓道為由。由亦從也(135)。韓／非飾邪、民聚而不知所道。注

道從也。

コノユイニ、コフイフ人ハ、上ニ居テモヲコラス。下ニ居リテモ

上ニソムク羊ナルコトハシマセヌ。

是故居上^{*1}不驕為下^{*2}不倍國有

(^{*1}右) 立上

(^{*2}右) 背反上ヲウラムルナリ。

道其言足^{*1}以興國無道其默足^{*2}

(^{*1}右) 國、道アルトキハ其言カ用ラレマス。

(^{*2}右) タマツテイレラレテノヲル。

易坤ノ四爻、括囊、無咎、論語ナラハ、邦無道、則可卷而懷

之。又邦無道、則／免於刑戮ト云人ナリ(136)。

以容詩曰既明且哲^{*1}以保其身其^{*2}

(^{*1}左) 此詩ハ、其默足以容ハカリニカケテヒクナリ。ステニ

明且哲ヲモ、タマ／ツテ居リ、明哲保身ノ道ト云ヲ、

ヒトリハカヲシテヲルコト。

(^{*2}右) 通知ナリ。

此之謂與

16ウ

(137) 此カラハ、誠ナルモノテモ誠ニスルモノテモナイカラ、余

若キトキニハ、錯簡ニテモアラ／ンカト思タカ、入レ処カナイカ

ラ、サヤウテハナイ。此ハ孔子サマヲ云ハント云、前ヲキテ／コ

サル。誠ニ妙テ孔子ハ誠之者シヤ。

子曰愚而好自用賤而好自專

(*1左) 下文徳ノ字ノ反。

(*1左又) ワルチエヲ出シテヤラフト云カ、自ラ用ルコトヲ好

シヤ。ノ好自用トハ、悪料簡テ人ノ云コトヲキカヌ

コト。

(*2右) 悪位ニシテ賤シキモノカ、ワカマ、二道テモコノシラ

ヘテ出スヤツサ。コレモワサワイヲ蒙ルヤツタ。

(*2左) 下文位ノ反。

仲虺之語曰、予聞曰、能自得師者王、謂人莫己若者亡。好問則

裕、自用則ノ小。左傳桓公十三年、莫敖狃於蒲騷之役、自用。

荀子業問¹³⁸。(眉欄) 桓公十三年、莫敖狃於蒲騷之役、

將自用也。

生乎今之世反古之道

(*1右) 周ノ世ヲサス。

(*1左) 時ノ反。

(*2右) タチモトル。

(*2左) タチモトラフト子シレルヤツハ、時世ヲ知ラヌヤツタ。

ノ徂来ハ反古之道ヲソムクトヨシタハ非ノナリ。從來

ソムクトモカヘルトモヨム字ノシヤ。此ハサヤウニハ

ヨメマセン。ノ徳位時ノ三ヲトカフトスル為ニ云ノサ。

(*3右) 夏ノ世、殷ノ世ヲサス。

〔如此者〕裁及其身者也

(*1右) 以上ノ三ツノ悪行ヲナスモノハノワサワイカ其身ニ及

フヤツタ。

荀子非相、故曰、欲觀聖王之跡、則於其粲然者矣、後王是也。

17才 彼後「王者、天下之君也。舍後王而道上古、譬之是猶舍己

之君而事人之君也。故曰、欲觀千歲、則審今日、欲知億萬、

則審一二、欲知上世、則ノ審周道、欲知周道、則審其所貴君

子。故曰、以近知遠、以一知萬、以微知明、此之謂也¹⁴⁰。

大戴礼哀公問曰、生乎今之世、志古之道、居今之俗、服古之服。

ノ舍之而為非者、不亦鮮乎¹⁴¹。

賤シテ自ラ專ニスルコトハナラス。專ニスルハ天子ハカリシヤ。

非天子不議禮不制度不考文

(*1右) ハカツテサタメス。

(*2右) 礼儀ハカリ定メルコトハノナラス。

(*3右) ハツトノコト。

(*4右) イクラ唐様ヲカクト云テモノ公儀通用ハナリマセヌ。

(*4左) 文章文字ナリ。ノ天子ヲ定タ文字ヲ用ルナリ。私ニハ

ツクラヌ。

(* 5 右) 文字ノコト。

車ノコシライハ、六尺六寸トキマツテアルカラ、車アトヲ同スル。

今天下車同軌書同文行同倫^{*1 *2 *3}

(* 1 左) テカミノカキカタモ

(* 2 右) 親ニハトウスル、主ニハカウスル。

(* 3 右) スジナリ。行ノスジナリ。

舜典⁽¹⁴²⁾

17ウ

雖有其位苟無其德不敢作礼樂^{*1 *2 *3 *4}

(* 1 右) 愚シテ自用ルコト好ト云処。

(* 2 右) 天子ノ位

(* 3 右) 聖人ノ德

(* 4 右) 愚ニシテ自用ルコトハナラヌ。

焉雖有其德苟無其位亦不^{*1 *2 *3 *4}

(* 1 右) 賤シテ自専ニスルコトハナラヌ。

(* 2 右) 聖人ノ德

(* 3 右) 天子ノ位

(* 4 右) 述而不作ナリ。

敢作禮樂焉^{*1}

(* 1 下) 此カ孔子サマノコトヲ云。孔子サマハ德アリテモ天子

テノナイカラ、禮樂ヲ作りマセン。自稱シ玉フニモ、

述而ノ不作ト仰セラレタ。

舜典、協時月、正日、同律度量衡焉。王制、命典禮考時月、定

日、ノ同律、禮樂制度衣服正之⁽¹⁴³⁾。

字ノ字ハ秦始皇本紀ニ出テ始メテ文字ト熟字スルナリ。

始皇本紀、一法度衡石丈尺。車同軌。書同文字⁽¹⁴⁴⁾。

18才

此ハ論語ニモアリ⁽¹⁴⁵⁾。論語ノ意トハチカフ。論語ハ書物ノ類

ヲ云。此ハ民ヲ云。民ノヲサメルシルシノカ、イナイムカシコト。

故ニノ互文ノ法ヲ書タ。

子曰吾說夏禮杞不足徵也吾学殷禮^{*1}

此ハ今ノ世ニ生テ古ノ道ニ反ラレヌト云処シヤ。

(* 1 上挿入) 杞有^モレ存⁽¹⁴⁶⁾

有宋存焉吾学周礼今用之吾從周^{*1 *2}

(* 1 上挿入) 不足徵⁽¹⁴⁷⁾

(* 2 右) ヲレハ周ノ世ニ生レテ周ノ礼ヲ学フカラノ周ノ法ニ從

イマシヤウ。

明高拱中玄問辨録(148) 二詳ナリ。

王天下有二重焉其寡過矣乎^{*1}

(^{*1}右) 学問ノヒラケルモ、田地ノヒラケルノ羊ニコレトキマツタト云コトハナイ。

(^{*2}右) 徳位時

徳位時ノ三八、天子王者ハカリテナイ。平人テモ同コト。徳ナクシテ孔子ノマ子ヲノシヤウトデキヌ。又位ナクシテ此ノ方シキノモノ、天下ヲ治メラレマセヌ。位ヲチカフノ親ノ古ヘ三年テアリツタ処、後世五十日。ソレ時テチカフ。

古ハ夏禹殷湯聖人シヤカラ、貢法助法モケツカフナレトモ、今ノ周二用テハシルシナクノテ、民カキモヲツプス。ソレ時カチカフカラシヤ。

上焉者雖善無徴無徴不信不信民

(^{*1}左) 徳(149)

(^{*2}左) 時(150)

(^{*3}左) 效言

(^{*4}左) 論語ノ徴ハ證據ナリ。此書ハノ今ニ行徴ナキナリ。徴ニテ効驗也。

18ウ

弗從下焉者雖善不尊不尊不信不信

(^{*1}右) 文武周公ヨリ孔子ヲ云。魯ノ家来ニテ陪臣ナリ。

(^{*2}左) 徳(151)

(^{*3}左) 位(152)

民弗從^{*1}

(^{*1}下) ソレカラ徳ト位ト時トソロハ子ハナラヌ。

△三重 三王之礼 鄭玄 孔穎達 河南程氏 建安游氏 河東ノ

侯氏 陳水司馬氏 兼山郭氏(153)

△議礼制度考文 藍田呂氏 新安朱氏

△上焉不可使知之者、下焉日用不知者也。故君子用其中、必本ノ

於修身、本諸身、徴諸庶民。 永嘉薛氏

信徴民從 臨川王氏(154)

19才

△善於己 徴於人 人信也ノ善於己 尊於人 人信之 延平周氏

(155)

△有德有位 徴庶民 蔡氏礼記集說(156)

△上謂君也、下謂臣也 鄭氏

△三王以上、三皇已遠之事、非三王之道、如諸侯伯者之事 程伊川

△上達之事、如性命道德之本、下達之事、如刑名度數之末 呂氏

△上於三王、謂高論之士／下於三王、謂卑論之士 司馬氏

△道德政刑 高要譚氏 △過不及 新定顧氏

△過乎忠質文、不及乎忠質文 晏氏

△居富貴之地、居貧賤之地 王氏 (158)

△有其位而無其德、有其德而無其位 蔡氏

19ウ

△德位時 明高拱中玄問辨錄 經典釈文ノ一説ナリ (159)

朱云、上焉者、謂時王以前、如夏商之礼。下焉者、謂聖人在下、

如ノ孔子見説極是。但如此解、上為時世之上、而下為官爵之下。

／大非文辭之法、宜曰上焉者自文武周公以上、如夏殷之王ノ下

焉者自文武周公以下、如孔子之聖、如此始 當本文之旨矣。

君子ノ道ト云モノハ、身ヲ脩メルカ本テコサルカラ、身ニモトツ

ケ德ヲヲサメ。

故君子之道本諸身^{*1} 徵諸庶民^{*2} 考諸^{*3}

(* 1 右) 德

(* 2 右) 時

(* 3 右) 合

三王而不繆^{*1} 建諸天地而不悖^{*2 *3}

(* 1 右) 夏殷周

(* 1 左) 古ヲ云ナリ。

(* 2 右) 子ジレヌ。

(* 3 右) 夏、皮衣ヲキテ、冬、カタヒラヲキルト云羊ナアシキ

／法礼ヲ立ヌコト。

20才

質諸鬼神而無疑^{*1 *2 *3}

(* 1 右) タ、ストハト筮ヲ云。ト筮祭祀ノ兼テアレトモ、筮ヲ

云。

(* 1 左) 今ヲ云ナリ。

(* 2 左) ト筮祭祀

(* 3 左) 占テ見テモヨイトテル。

百代ノ後、聖人カ出テモ惑ス羊ナルコトヲ致シ、少モワクルヲモ

ワレヌ。前聖後聖其揆一也 (160)。

百世以俟聖人而不惑

後ヲ云ナリ。

質諸鬼神而無疑^{*1} 知^{*2} 天也百世以

(* 1 左) ウタカヘ

(* 2 右) 天道

俟聖人而不感知人也^{*1*2}

(*1左) 聖ト云ヘトモ人道ヲ盡シタル人故ニ、聖人ノシヤ。孟子、聖人、人倫之至也ト云釋カアル¹⁶¹。

(*2右) 人道ヲシリツクシタ人。

是故〔君子〕動而世為天下道行而世為^{*1*2}

動ト云トキハ言行ヲ兼ルナリ。然ラハ動而世為天下道ト云ヘキヲ、ノハシテ行ト云、言ト云テ書タルノナリ。コノ故綱目ヲ立テ見ルナリ。

(*1右) 綱

(*2右) 目

20ウ

天下法言而世為天下則^{*1}

(*1右) 目

遠之則有望近之則不厭^{*1*2*3}

(*1右) 遠近、土地年月ナリ。山モ直ニ根ニテ見ルト、大キイモ小サキモ同シ羊ナレトモ、遠クテ見ルトノ大小カワカル。其味イカアル。伊藤東涯力辨疑録ノ説ナリ。

(*2左) アラキノソム。

(*3左) 近クニヨリテモ聖人タケニ、イトハレヌナリ。

江戸ニ居テ上方ノコトヲキクト、尊クノヨモハレマス。古ノコトヲ今ノ世テノ考テ見レハ、尊ク思ハレルモノ。ノ土地ト時トヲ云。望ハアイタクミタク思ハレルコト。

明哲保身ト同シ例テ、下ノ不厭ハカリヘ引タモノシヤ。

詩曰在彼無惡在比無射庶幾夙^{*1}

(*1右) キラハレニクマレルコトカナイ。

夜以永終譽君子未有不如此而蚤^{*1*2*3}

(*1右) 夙夜トハ勉強ノコト。

(*2左) 名譽ヲ終始スルコト。

(*3右) 在彼無惡在此無射トヲ云。

(*3左) カシコテハニクマレ、此テハイトハレルノ羊テ、天下ニ譽レアルモノテハノナイ。

21オ

カシコテモ此テモニクマレス、イトハレヌト云人テナケレハ、天下ヲホマレノ立ト云コトハナイ。

有譽於天下者也^{*1}

(*1下) 孟子、達不離道、故民不失望焉。又云、令聞廣ノ譽施

於身、所以不願人之文繡也¹⁶³。

十月十七日 (164)

孔子ハ学テ聖人ニヲナリナサレタ。論語、子曰、非生而知之者、好古、敏以求之者也。ノ此ハウツテチカヘニシヲ書タモノハ、此ハ誠之者ヲ云。

仲尼祖述堯舜憲章文武

(*1右) 祖述スルト云コトハ学フコト。前ノ三重ハ孔子ヲ云ハントテ書タモノ。

(*1左) 考三王而不繆ヲ承テノ書タモノシヤ。建諸天地而不悖ヲ承テ書タモノシヤ。

上律天時下襲水土辟如天地之

(*1左) 礼ヲ云タモノシヤ。

(*2右) 礼器、礼也者、合於天時、設於地財、順於鬼神、合

於人心、理萬物者也 (165)。礼運、夫礼、ノ必本於大

一、分而為天地、轉而為陰陽、變而為四時、列而為

鬼神。其降曰命、其官於天也。

礼ノ天地ニノツトルコト、先ヨクヨク知ルヘキナリ。暑キトキハ帷子ヲキル。寒キトキハノ綿入ヲキル。此ヲ知ルヘキナリ。

下水土ニヨルトハ、其土地ニアルモノヲ用ユルカ礼タ。

一説上律天時ト云ハ、上ハ天ノ時ニノツトリ、下ハ水土ニヨツ

テ行ハ、用舎行蔵トノ云タハアヤマリシヤ。居山以魚鼈為礼、

居澤以鹿豕為礼、君子謂之不知礼 (166)。礼器。此ノ語ニテ水土ニヨルコト知ルヘキナリ。

此章、論語ニ述而不作ト仰セラレタル処。祖トハ始メトスルト云コト。述ハ、ノベノシタカフト云コト。孔子ハ堯舜ヲ元祖ト

21ウ シテ、近クハ文王武王ニノツトリ、アキラカニ「ナサレタ。此考三王而不繆ト云処ナリ。

聖人ノ徳ヒロクアツキハ天ト同シ徳。聖人ノタカク明ナルハ地ト同シコト。孔子モ天地ノト同シコトシヤト云タモノシヤ。

無不持載無不覆幬

(*1左) 博厚配地ナリ。

(*2右) 萬物ヲ

(*3左) 高明配天ナリ。

三千七十ノ弟子ヲ持載覆幬シ玉フナリ (167)。

辟如四時之錯行如日月之代明

(*1右) 聖人強柔兼用ユル場シヤ。文テヨキトキハ文、武ヲ用

テヨキトキハ武ヲ用。ノ文武知勇剛柔遲速仁義又出處

語黙。

(*2右) 春夏秋冬

(*2左) 陰陽寒暑

(*3右) タカヘチカヘ

(* 4 右) 日ハヒルヲテラシ、月ハ夜ヲテラス。／晝夜。

(* 4 左) 進退久速其事ニカナフ。

(* 5 右) ヨルヒル

天地之無不持載無不覆幬ヲ承テ書タモノシヤ。持載覆幬ノ中ニ萬物力並育レル。

萬物竝育而不相害道竝行而不相悖

(* 1 右) 三千七十弟子 (* 1 左) 教育生育 166

(* 2 右) 求也退、故進之、由也兼人、故退之。／ソレカ万物並育スルノシヤ 166。

(* 2 左) 孟子、得天下之英才而教育スル処ノシヤ。

(* 3 左) 草木禽獸

(* 4 右) 夏ハアツイ、冬ハサムイ、日ハヒルヲテラシ、月ハヨルヲテラスト云羊ニ、サシ (* 4 左) ツカイナク、

トヤミナク行ハレテユク。

(* 4 左又) 害悖ノ二字ハ大ナル所ヲ云。鷹カ雀ヲトル、／狼カケモノヲトル、獺カ魚ヲトルト云テモ、／ソレテタ

子ノツキルモノテナイ。コレカ大ナルコトシヤ。

求ノ退カ由ノ人ヲ兼ヌル。シヤマニハナリマセヌ。／夫子ハ滋雨ノ化スルカ如ク、弟子皆其性ヲトケル。

22 才

孔子ハ、匹夫ニテ如此ノ大徳アリ。故ニ堯舜ニマサルコト遠シ

ト云ハ実論シヤ。天子ノ御イキホイテモ、舜ノ臣モオアルハ五人ナリ。武王二十人アリ。然ルヲ匹夫ニテノ三千七十ノ弟子ヲソタテナサル、ト云コトハ大ナルコトシヤ 170。

小徳川流大徳敦化

(* 1 右) 文武兼用剛柔其宜ニ從テト、コフルコトナキハ川流シヤ。

シヤ。

(* 1 右又) 日月代明ノ所シヤ。

(* 1 左) 日月運行

(* 2 左) 川ノ流ヲトヤミカナク流ル、羊ニ、サシツカヘナク事ニ應シテ、サシツカヘ止ルコトノナキヲ云。

(* 3 右) 四時ノ錯行シヤ。／万物ヲ生シテ、ソレソレニソタテ

、実ノラセル。／三千七十ノ弟子ヲソタテ玉フハ、敦化トヒトシキ所シヤ 171。／孟子カ天下ノ英才ヲ教

育スルヲ樂トスル所シヤ。

(* 3 左) 總テ教ヲ云。化ヲ云フニヨリ、先王ノ天下ヲ化スルモ、天子ノ三千ノ七十ノ弟子ヲ化スルモ、教ヘルノ義ハ一

ナルニヨリ、先王ノ説ハノ千古ノ卓見シヤ。

此天地之所以〔為〕大也

(* 1 下挿入) 徳

(* 2 下) 孔子之徳亦皆如此ノ八字省畧。

孔子学テ聖人ニナリ玉ヘシナレトモ、其至ルニ及ンテハ、同シク至誠ノ聖人シヤ。

上律天時 下襲水土

△建安游氏、體元而享、利物而貞、一喜一怒、通於四時。修其教、
ノ不易其俗。齊其政、不易其宜。使四方之民、各安其常、各成
其性⁽¹⁷³⁾。ノコレハ周易ノ元亨利貞ト礼ノ王制ヲトイタルナ
リ。

22ウ

△河東侯氏、延平楊氏、則天明也。因地利也。

△蕭陽林氏、隨時出處、可以速則、可以久則久、可以仕則仕。ノ

五方之俗、皆能焉。識當時之齊之楚、之衛之宋⁽¹⁷⁴⁾。

△長樂陳氏、變通、莫大乎四時。生養、莫大乎水土。

△雪川倪氏、作春秋、而先春後秋。述職方、以除九丘。

△新安錢氏、建也、順也。コレハ易ノ乾坤テ云ノシヤ。

△新安朱氏、其書之有行夏時、贊周易也。其行之有不時不ノ食也、

迅雷風烈必變也。以至於仕止久速皆當其可也⁽¹⁷⁵⁾。

其書之有序禹貢、述職方也。由其行之有居魯而縫ノ掖也。居宋

而章甫也。以至於用捨行藏之所遇而安也⁽¹⁷⁶⁾。

古先聖王之迎日推筴、頒朔、授民而其大至於禪受放伐。ノ各以

其時、體國經野、方設居方、而其廣至於草木昆蟲各遂其性。

23才

左傳、子大叔曰、夫礼天之經也、地之義也、民之行也、天地之

經、ノ而民実則之、則天之明、因地之性。昭公二十五年
又云、礼上下之紀也、天地之經緯也、民之所以生也。

礼運、夫礼先王以承天之明、以治人之情。是故夫礼、必本ノ於
天、殺於地、列於鬼神、達於喪祭、射御、冠昏、朝聘。

持載覆幬

△藍田呂氏、其博厚、足以任〔仁〕天下。其高明、足以冒天下。

△長樂陳氏、同。

△建安游氏、博厚配地、高明配天。

△河東侯氏、廣大地。延平周氏、同。

錯行代明

△藍田呂氏、其化、循環而無窮、達消息之理也。其用、照

23ウ 「鑒而巳、達晝夜之道也。

△建安游氏、變通照臨。河東侯氏、其變通也。不息也。

△延平周氏、言其變通、言其能微能顯。

△長樂陳氏、即前謂悠久無疆。

△晋陵錢氏、言其道時中、言其能日新。

竝育竝行

△呂氏、尊賢容衆、嘉善而矜不能。貴貴尊尊、賞功ノ罰罪、各當

其理⁽¹⁷⁷⁾。

△游氏、小以成小、大以成大。動者植者、皆裕如也。或進ノ或止、

或速或久、無可無不可。

△侯氏、從容中道也。

24才 △延平周氏、天地之育万物、孔子與之並育、而不相害。「天地之行其道、孔子與之並行、而不相悖。」

司馬氏、同。

陳氏、即上所謂、不見而章、不動而變、無為而成。此天／地之所以為大也〔178〕。

陳、云即前所謂、為物不貳、則生物不測。

錢氏、物以異而和、道以異而適。

孟子、君子之所以教者五、有如時雨化之者。

又云、得天下英才、而教育之。

化育二字、在天地、化育万物也。在孔子、化育弟子也。

左傳襄二十九年、季札觀樂、見舞韶箭者、曰、德／至矣哉、如

天之無不覆也、如地之無不載也。雖甚盛／德、其蔑以加於此矣

〔179〕。

24ウ

繫辭、廣大配天地、變通配四時、陰陽之義配日月、／易簡之善

配至德〔180〕。樂記、春作夏長、仁也。秋收冬／藏、義也〔181〕。

敦化川流

呂氏、禮儀三百、威儀三千、此小德之所以川流也。／洋洋乎發

育萬物、峻極于天、此大德之所以敦化／也〔182〕 侯氏同。

游氏、動以利物者知也。故曰小德。靜以裕物者仁也。／故曰大

德〔183〕。

周氏、小德則出入可也。故川流。大德則不隳閑。故敦／化。

25才 馬氏、小德出而成物、則如川之流。大德體而成己、其「妙至於敦化。」

錢氏、小德、德之用也。如川之流。其行不窮、大德、德／之體

也。敦厚而化、人莫能測。按萬物並育、道並育〔184〕。

侯聖云、辟如天地之無不持載、無不覆幬、萬物所以並／育而不

相害也。辟如四時之錯行、如日月之代明、所以／並行而不相悖也。

朱熹云、天覆地載、萬物並育於其間、而不相害。四時／日月、

錯行代明、不相悖。此說皆是也。

朱熹云、所以不害不悖者、小德之川流。所以並育並行／者、大

德之敦化。此說大非也。

江陵項氏云、覆載、其大德、錯行代明、言其小德、是以／並育

為大德、以並行為小德。其說極是可仰敬從也〔185〕。

25ウ

誠之者ノ人道ヲ云。言語ヲ少シツ、ヲトシテ書タモノシヤ。

伊藤仁齋力知仁勇礼義テ此章ヲ／トイタ、チカイナイ〔186〕。

唯天下至聖為能聰明睿知足以

(* 1 右) (知)

(* 1 右又) キクコトノアキラカナルナリ。

(* 1 左) 善言ヲキ、ワクルコト。睿知、來年ノコトヲ今年知ル。

／蝦夷松前ノコトテモコ、テ知ルナリ。

(* 2 右) 見ルコトノアキラカナルナリ。

(*2左) 知ノアキラカナルナリ。

(*3右) 思テ通スルナリ。

(*3左) 前識也。

(*3左又) 聖ヨリカルクヲチタ字。思云睿／睿曰聖ト云ヨリヲ

トシ／テカキタルモノナリ(187)。

(*4右) 知人知事理。

有臨也^{*1}

(*1右) 上ニ立テ下ヲミルコトナリ。／ミヲロスコトニナルナ

リ。

(*1左) 明ノ字ニ縁アル字ニテカキタルナリ。照臨四方日明(188)

コレナリ。

大禹謨、臨下以簡、御衆以寬。子張問入官、寬裕以容其民(189)。

寬裕溫柔足以有容也^{*1 *2 *3 *4 *5}

(*1右) (仁)ノム子ノヒロイコト。

(*2右) 氣ノユツタリト有余兒。氣ノナカキナリ。綽綽然有餘

裕(190)ト云ハ、氣ノセハカラヌコト。

(*3右) ヲモテヤハラカテ、ムツクリトスルコト。寒モワルク

熱モワルク、溫ハ中ニシテ宜ナリ。

(*3右又) 溫和和順ナリ。

(*4左) イカニモ柔和ノコト。

(*5左) 寬ノ字ニ縁ヲトリテ書タモノ。／ム子カヒロイカラヨ

ク人ヲイレマス。

發強剛毅足以有執也^{*1 *2 *3}

(*1左) (勇)

(*1右) 発ハ、樂記、発揚踏厲ト云コトアリ。大雅ニ揚揚如鷹

ト云コトモアリ。／莊子人間世、以陽為充孔陽、采色

不定トアリ。晏嬰傳ニ意氣揚揚ト云字アリ(191)。発

揚ハ濶達ノヲ云。洪範ノ沈潜ト對スレハ明白ナリ。

(*2左) 強ハタユマノコトニテ弱ト對シ、又撓弱ト對ス。タト

ハハ重ヲサ、ユル柱ノ如キナリ。重キ大役ノヲヒキウ

ケテスルコトナリ。声色貨利ニヲホレサルヲ剛ト云。

(*3右) 固ク、トリ守ルコト。

26才

剛ハ柔ト對シテ、ツヨクシテカタクヤフレヌナリ。堅固ナリ。

クタクヤフレヌ所ヲサス。

毅ハコラヘ性ノツヨイコト。強忍犯義毅也ト楚語ニアルニテツ

クセリ(192)。

漢魏ノ人ハ決断ノ義ト云ハ大ニアヤマリナリ。此ハ左傳宣二年、

殺敵為果、／致果為毅(193)ト云ヨリアヤマツタ。

論語、臨之以莊則敬、又、不莊以瀆之、則民不敬、又云、望之儼

然、又云、君子正其衣冠、尊其瞻視、儼然人望而畏之(194)。

齊莊中正足以有敬也^{*1*2*4}^{*5*6}

(^{*1}左) (禮)

(^{*1}右) ツ、シムコト。

(^{*2}右) 兎ノキツトシテヲラルコト。

(^{*3}右) 中スシノコト。礼ハ中スシシヤ。

(^{*4}左) タ、シキヲ得テヲルコト。

(^{*4}左又) 無過不及之謂之中¹⁹³、立極於四方、不偏不倚之

謂正。

(^{*5}右) 孟子、恭敬之心、礼也トアリ。敬トハ礼也。ノ萬事ノ

コトヲ敬スルコト。

(^{*6}下) 敬事敬人敬天ノ敬ナリ。

文ハカサリナリ。物一無文ト考工記ニアリ。コレモ、ヨリモヤウノソレソレニ、カサリノワカルヲ云ナリ。

文理密察足以有別也^{*1*2*3*4}^{*5}

ヲヤハハトウ事テヨイ、兄ニハトウ事テヨイ、君ニハトウイフ事カタシヤト、其スシ道カヨリモノノ、モヤウノ羊、玉ノスシメ、木ノスシメノ羊ニワカルル、コト。

(^{*1}左) (義)

(^{*2}右) 理ハ孟子ニ理義ト云、義理ト後世ニ云。理ハ物ノワカ

レナリ。モト玉ノムクメノコト。スシメトノ云ナリ。

(^{*3}左) 精細精微

(^{*4}右) 明白ナリ。

(^{*4}左) 進退久止ノ考工記、青與赤謂謂之文、赤與白謂之章。

(^{*5}右) 千差万別

孟子、兼金百鎰ヲヨクルニ、齊テハウケス。宋テハウケタカ、文理スシ道ノワカル処シヤ。

韓非子解老、理者、成物之文也。又云、凡理者、方圓、短長、

麤靡、堅脆之分也。ノ故理定而後可得道也。又云、短長、大小、方

26ウ 圓、堅脆、輕重、白黑之謂理。「理定而物易割也¹⁹³。(中)

仲尼燕居、子貢曰、敢問將何以為此中者也。孔ノ子曰、礼乎礼。

夫礼所以制(中)也。周礼、以五礼防万ノ民之偽而教之(中)。大

司徒。

溥博淵泉而時出之^{*1*2}^{*3}^{*4*5*6}

(^{*1}左) 天

(^{*1}右) 上ノ二十ノ德ノコトカノ通セサルコトナキナリ。ノア

マ子カラサルコトナキナリ。

(^{*2}左) 地至ラサルコトナキナリ。

(^{*3}右) 淵ハフチノ羊ニ深クテハカリシラレナイ。ノ泉ハミナ

モトアリテ、ツキルコトハナイ。

(^{*4}左) ツヨクテヨキトキハツヨク、柔テヨキトキハ柔ニヲナ

リノナサル、ナリ。

(* 4 左又) 君子務本、本立而道生。

(* 5 左) トコカラ出スト云ト、唯一身ノム子カラ出シ行フコト。

(* 6 右) 上ノ二十徳ヲサス。

溥博如天淵泉如淵

(* 1 右) 聖人ノ御徳ノ溥博ナルコトハ / 天ノ羊シヤ。

(* 1 左) アマ子ク

(* 2 左) ユキワタルコト。

(* 3 右) 如ノ字ヲツケテアリ、次ニハ淵淵其淵、浩浩其天トアリテ、如ノ字ナシ。此ニハ / 如ノ字ヲツケニ誠之者タケニ / ヲトシテ書タ。

(* 4 左) 深而不可知 (197)。

(* 5 左) 有本而不盡 (198)。

徳ヲアラハセハ、民カウヤマハヌト云コトハナイ。

見而民莫不敬言而民莫不信

(* 1 右) ヒキクカキシモノナリ。

(* 2 左) ウヤマイ重スル。

(* 3 右) 聖人モノ言テ、民カ信セヌト云コトハナイ。

27才

聖人ノヲヲコナイナサル、コトヲアリカタカリ、ヨロコハヌモノハナイ。

翻刻 慶應義塾大田錦城講説伊藤忠信筆記『中庸開書』(二)

行而民莫不説

(* 1 右) シタシミアイスルコト。

贊美ノ辞 / 右ノ通りノ聖人ナレハ (199)

是以声名洋溢乎中國施及蠻貊

(* 1 右) アフレ

(* 1 左) サカンニアフレル。

舟車所至人力所通天之所覆地

之所載日月所照霜露所隊

有血氣者莫不尊親故曰配天

(* 1 右) 血氣ヲウケテ生ル、人間

(* 2 右) 敬

(* 2 左) 義アル / ナリ。

(* 3 右) 愛

(* 3 左) 仁アル / ナリ (200)。

(* 4 右) 其功德ノ大ナルハ天地ニ並フ。

(* 4 左) 唐カラ云ヘハ、日本ハ夷狄ナレトモ、孔 / 子サマヲアリカタカラスモノハナイ。 / 伊勢ノ本居宣長テサヘ孔

子ハヨキ人ト云マシタ。■言乱民ノ男ジヤ。

(*5下) 易文言、大人也者、與天地合其德⁽²⁰¹⁾。

27ウ

誠者テ云至誠ハ、天然自然ノ至誠聖人ノ堯舜ノ类ヲ云。

唯天下至誠為能經綸天下之大經^{*1 *2 *3}

(*1右) 治天下國家有九經ヲ承タモノシヤ。

(*1左) 糸ヲワケルコト。

(*1左又) 九經ノ脩身ナリ。ヤレドウドウトアルハ、ワケルシ

ノヤ。ソレヲ合シテ見ルカ、ヨリアハス綸シヤ。

(*2左) 糸ヲヨリアハスルコト。

(*3左) 大常法

中也者天下ノ大本也ヲ承タモノシヤ。

立天下之大本知天地之化育^{*1 *2 *3}

堯舜禹建中ノ処シヤ。

(*1右) 中ハ過不及ノナキ大本

(*2左) ツカサトル。

(*3左又) 易、乾知^{ツカサトル}大始^ヲ、坤作成物。ノ呂氏春秋、知鄭國

之政⁽²⁰²⁾。

(*4左) 万物ヲソタテル。ノ天地位万物育ノ義ノシヤ。

中道ヲ行テ少シモ偏倚シテカタクオルコトハナイ。是一説。ノ又一

説ハ、聖人ハ生地安行ヲナニヨリタノシテナサル、コトテハナイ。

夫焉有所倚^{*1}

(*1下) 倚ハスジカイニ、モノニヨリカ、ルノ名ナリ。

肫肫其仁淵淵其淵浩浩其天^{ト^ト *1 *2 *3 *4}

(*1右) 鄭玄以來音純ノ義ニ見ル、大二誤ナリ。音トシテ屯^{グムロ}ノ

義、又アツイ義。プタノ羊ノニコイフトツタ処カアツ

イ義。肫肫アツキコト、淵淵ハフカキコト、浩浩大ナ

ルコト。

(*1左) 肫ヲトントヨミ敦ト通シサセテ見ル。其仁ト云ハ誠ニ

ヲ、イニアツイ。徳ト云ハトリモナヲサスフチノノ羊

ニフカイ。徳ノ大ナル所ハトリモナヲサス天ノ如クナ

ルシヤ。

(*2右) 子ニコロナル兒。

(*3右) 徳ノフカキフチノ羊タ。

(*4右) 徳ノ大ナルコトハ天ノ羊タ。

28才

肫ハ敦ト同シクアツキナリ。其厚キト云ハ、屯ハタムロニテア

ツマルナリ。月ハ肉ナリ。肉ノアツノマリコトニテアツキナリ。

大雅、常武ノ詩、鋪敦淮漬⁽²⁰³⁾ト云、コレ敦モタムロシテア

ツノキ形ナリ。經綸天下之大經スルカ、肫肫其仁ノ所ナリ。立

天下之大本、知天知〔地〕之化育力、淵々其淵浩浩其天ノ所シヤ。

屯大象、雲雷屯。君子以經綸(204)。

中庸、中也者、天下之大本也。和也者、天下之達道也。又云致

中和ノ天地位焉万物育焉。

又云、唯天下至誠、為能盡其性、能盡人之性、能盡物之性、可

以贊ノ天地之化育、可以與天地參矣(205)。

大經 大本 化育(206)

△呂氏、大經天理也。所謂庸也。大本天心也。所謂中也。ノ化育

天用也。謂化也。

△游氏、天下之大經、五品之民彝也。大本建中于民也。

28ウ

△楊氏、大經天理也。大本中也、化育和也。

△侯氏、大經常也。大本中也。

△朱氏、大經者五品之人倫。大本者所性之全體也。

△馬氏、大本性之始也。所謂中德也。大經者性之成、ノ所謂庸德也。

△長安陳氏、大經所謂庸也。大本所謂中也。化育ノ所謂和也。

△晏氏、大經者理之常、大本者性之中、化育命之正。

晉陵錢氏、大經者九經。大本、若修身以道也。

楊氏、游氏云、非特如淵而已。非特如天而已。此至誠之道也。

ノ朱氏據之是也。

29オ

苟不固聰明聖知達天德者其孰*1 *2 *3 *4

(* 1 右) 高ク説ナリ。

(* 2 右) 通達

(* 3 右) 誠ナリ。

(* 3 左) 天德ノ誠

(* 4 右) ソレタレカヨクコレノ行ハント云ト同シノキナリ。

能知之*1 *2

(* 1 右) コレホトノ聖人ニアラサレハ、コノ場所ヲハアツカリ

シラレヌト云コトナリ。

(* 1 左) アツカリシルナリ。

(* 2 下) 天下大經ト云云、立大本、知天地之化育、此三ヶ条ノ

コトヲ、モノシ聰明聖知ニシテ天德ノ誠ニタツシタ人

テナケレハ、トウノシテアツカリシランヤト云コト。

繫辭、遂知來物。非天下之至精、(其)孰(能)(與)(於)(此)。

遂成天地之文。ノ極其數、遂定天下之象。非天下之至變、(其)

(孰)(能)(與)(於)(此)。遂通天下之故。非天下之至神、(其)(孰)

(能)(與)(於)(此)(207)。

十月二十二日(208)

此章ハ上ヲ承テ下ヲ起ス文シヤ。ソレカラヨミニクイナリ。仁齋

ハヨクナイ。／中庸ノ獨ヲ慎ヨリ大至誠ノ聖人ニ至ルコトヲ説タル書ナリ。聖人ニ至ルコトヲ／シラシムルナリ。

詩曰衣錦尚絅惡其文之著也

詩經二八、絅作聚ニ作ル。コレハ衣裳ノツケ方ニテ、錦ヲキルト、
29ウ アマリケハ「ケハシク見ユルモノ故ニ、其上ニカラムシニ
テ、ウスクヨリタルモノヲキタルモノナリ。／コレハ文ノキラキ
ラト見ヘヌタメナリ。絅ハカラムシノコトナリ。

ソレ故ニ君子ノ道ハクライ羊テ、アノ人ハトウカ、バカテモアル
カト思羊ナレトモ／トコトナク徳カアラハレル。コレハ錦ヲキタ
上ニ、カラムシノウスキヲキテヨルカラ、其

故君子之道闇然而日章小人之道

モヤウハ見ヘヌ羊ナレトモ、ヨク見レハ、下ニ云フニイハレヌケ
ツカフナ／モヤウノアルニタトフナリ。

(*1右) (主)

(*2左) 聰明審知、守之以愚。／易、括囊無咎、乃此処也。

(*3右) (客) 小人ノ道ハ巧言ノ令色ヲ的然トヨイ／ヨフナレ

トモ、其実カナイ／カラサメテクル。／揜其不善、顯
其善ノ所的然シヤ。

的然而日亡

衣錦尚絅ヲ承タルモノ。故ニ錦ノ上ヘカラムシノ、ヨリモノヲカ
ケテアルカラ、ケハケハシクハ／見ヘヌ。唯ホンノリトウツクシ
ヘ処カ見ヘルカラミサメセヌ。コレカ淡ク味カナイ羊ナレトモ、
甘ヤ辛ハ／クイアキカスルカ、味ノ淡ナルモノハクイアキヌ。食
事スルメシノクイアキセヌ羊ナモノシヤ。

君子之道淡而不厭簡而文

君子ハ淡泊ニシテ無欲ナルモノ故ニ、人ニアカレイトハレ／ルト
云コトハナイ。君子ノ交リハ水ノ如クト云。小人ノ／交リハ甘ク
シテ、アマサケノ羊ナレトモ、イツトナク／アイテクル。淡泊ナ
ルニハ及ハヌ。

(*2左) 上カラ見ルトホンノリトスル。

(*2左又) 簡ハ煩ノ反ニシテ、事ニノソソンテ大ノマカナル羊ナ

レトモ、内ニ其実アルカラ、文ノアヤアルワカレメ

カアル。コレモ／絅ノ上カラ見レハ、大マカノ羊ナ

レトモ、ヨク／ヨクスカシテ見レハ、下ニヨイモヤ

ウカアル。

(*3下) 親ル(二)事ルハトウシヤ、／君ニ事ルハトウシヤ／

トワカル所カ文シヤ。
(*1「亡」下) (文) 考工記、青與赤之謂文、色ノワカレナリ。
／節文度數ナリ。色モ／吉事ニハ黒、凶事ニハ白、君

ニツカヘル、父ニツカヘル同シケトモ皆異也。是文也。

温ハ寒テモナク熱テモナク、ムツクリトヨイアンハイニ、アタ、カナル羊テアルカラ、コレハウスヌル／コイカト思フト、内ニ誠カアルカラ、コレモ亦綱ノ上ハ温、下ノ錦ハ文ナルヨイモヤウノアルコト。

温而理^{*1}

(*1右) 善悪邪正カヨクワカル。

(*1下) ムツクリトシテラレトモ、アイツニハツキアレハレヌ、アイツトハトウシヤトヨク分ル。

遠ハ國天下、近ハ家ナリ。國天下ヲ治メルニハ、先家ヲ齊子ハナラヌ。家ノ本ハ身ナレトモ／身ヲイハヌ。家ヲ云テ遠イ天下ニ及ホスコトヲ云。

知遠之近知風之自^{*1}

(*1左) 天下ノ風ヲ变化スルニハ、イツレノ所ヨリヲコルト云ト、己カ／閨門ノ中ヨリヲコル。サルニヨリ、國風ノ

詩ニハ、閨睢ヲマツサキニシタ。家ヲト、ノヘルニモ、閨門ノ夫婦ノ道シヤ。ソレノ故、堯ノ舜ヲ試玉フモ、女子時、觀厥刑于二女トアリ。／二人ノ女ニ、ヤキモチケンクハノナイ羊ニスルコトハ、テキヌコトシヤ。／雨森藤五郎カ随筆モノニハ、天下ノ乱レルハ、閨ノ

中カラ乱／レルト書タカチカイナイ。ソレカラ詩經ニモ、刑于寡妻、／至于兄弟、以御于家邦ト云ヲ見ルヘキナリ。

慎獨ノ所カ微シヤ。／天下ヲサメル本ハト／ウシヤ、家ヲサメル／本ハトウシヤト、ヨク／基本ヲ知テ見サル所テモ／キカサル所テモ、事ヲツ、シミユルカセニセス。ユルカセニスルト、微ナル所カラ頭ニナルコトカアル。コレヲヨク／トク心シタ人カ、徳ニイルヘキ人シヤト云コト。

知微之顯可與入德矣^{*1 *2}

(*1左) 身ヲサメルカ本シヤ。／細微軽忽ナルヲヨク慎ナリ。／コレ慎獨ナリ。

(*2右) 道

30ウ

表記、君子接如水、小人之接如醴。君子淡以成、小人甘以壞。

／小雅、盜言孔甘、乱是用餒。⁽²⁰⁰⁾

君子之道、辟如行遠必自邇、辟如登高必自卑。⁽¹⁰⁰⁾

詩序、閨睢、后妃之徳也。風之始也。所以風天下而正夫婦也。⁽¹¹⁾

微頭ノ字ヲ釋シタルナリ。慎獨ノコトヲ釋シ、若慎マサレハ、カクノ如ナリト云コト。

詩云潜雖伏矣亦孔之昭^{*1 *2 *3}

(*1右) 悪心悪念ヲイタケハ、ナニホトカクシテモ、カナラス
アラハル、ナリ。

(*1左) 善心善念ヲイタケハ、イツトナク手足ニアラハレ、面
目ニ出テ言葉ニ発シテノカクスニカクサレヌモノシ
ヤ。俗ニ云人ハ、大カイ目モトテシレルト云カ、ヨク
眼ノ二ハアラハル、モノシヤ。

(*1左又) 詩経ノ意ハ、乱世ニ生レテ身ノカクシ所カナイト云
コトシヤ。此ハソウテハナイ、コレ神用ノ処。

(*2左) 微ナリ。

(*3左) 顕ナリ。

故君子内省不疚無^{*1}惡^{*2}於志^{*3}

(*1右) 我身ニ立モトツテ見テモ

(*1左) 志ニ少シモ悪念悪行ノ少シノアシキコトナイ。アル日

ニハカクシテモノアラハレル。

(*2右) ヤマシカラスハキズノナイト云味。ノヤハリ慎獨ノ処

シヤ。

(*3左) 善ニ志サシテアルカラ、少モ己カ志ニニクムヘキナキ也。

31才

人ノ前ニハ慎メトモ、獨リニハツ、シミカヌルモノヲ、人ノ見サ
ル所ニモ慎ナリ。鄭注ニツクシテアル也。ノ上文ノ通りナレハ、
君子ニ及ハレヌト云コトハナイカ、君子ニ及ハレヌ処ハ其唯人ノ

見ナイ所ノテモキツトツ、シミテワルイコトヲセヌ。サテ人ト云
モノハ、人ノ見ナイ所テモ(経文左)ワルイコトヲスルモノシヤ。

君子之所不可及(者)其唯人之所不見乎^{*1}

慎獨ト云モノハ天地鬼神ニハジルナリ。ノ慎獨ノシルシヲ云ナリ。

(眉欄) 小雅曰、不愧于人ノ不畏于天。

(*1左) 集註テハ人ノ見ノサル所ヲ己ノ見ノサル所ハアヤマリ
ナリ。

衛ノ睿聖武公ヲホメタ詩シヤ。武公カヒトリヲ慎ム御方故、屋漏
ノ鬼神ニモハツルコトハナイ。屋ノ東南ノ隅、窓カナイカラウ
スクライ処シヤ。人ト云トモノハ明ルイ(経文左)所テハヨイコ

詩曰相在爾室尚不愧于屋漏^{*1}

トヲシテモ、ウスクライ処テハワルイコトヲスルモノ。

女ノ字ヲ相ノ下ニ省キタルナリ。室ハ奥ナリ。堂ハ表ナリ。屋漏

ノ解、鄭玄ハアシキナリ。

(*1左) 心学ハ詩経ノ大雅カラコリシヤ。

(*2左) 鬼神モ恥サル所ヲ云ナリ。

抑、視^ル爾友^ニ君子^ヲ、^{ヤハ}輯^ニ柔^カ爾^カ顔^ヲ、不^ニ遐^有レ^レ愆。相在爾

室、尚不愧ノ于屋漏。無曰不頭、莫^シ予云觀^シト。神之格思、
不可度思、矧ノ可射思^ニ。清ノ趙翼^ニ二十二史劄記ニ、天

ヲハヲソルヘキコトヲヨク辨シテアル。

中庸、道也者、不可須臾離、可離非道也。是故君子戒慎乎／其所不睹、恐懼乎其所不聞⁽²¹⁴⁾。

繫辭、子曰、君子居其室、出其言善、則千里之外應之、況其邇／者乎。居其室、出其言不善則千里之外違之、況其邇者乎。言
31ウ 「出乎身、加乎民。行發於邇、見於遠。言行、君子之樞機、

樞機之／発、榮辱之主也。言行、君子之所以動天地也、可不慎乎。
古八天ヲソソレタルモノナリ。天ヲソソレサル羊ニナリタルハ、
魏曹操力漢ヲ奪タ／ルコロヨリナリ。ソレカラ己カ子孫モ己カ
ナシタル如クニサレテ、亡サレタルナリ。

屋漏ニモハチ又位ノ人ナルニヨリ、其人カ動カストモ言ストモ、
敬信スルハツシヤ。／コレホトニ獨ヲツ、シム人シヤカラ、人ノ
服スルニチカイハナイ。

故君子不動而敬不言而信

不言ノ二字ヲウケテトキタルナリ。動變化ヲ云ナリ。君子ノ徳ニ
感動スルヲ云。奏格^{マツ}(假)⁽²¹⁵⁾ 二字妙也。／五説アリ。予中庸考
二見ヘタリ⁽²¹⁶⁾。出ホウタイノコトシヤ。烈祖、醜假ニ作り、
毛萇／醜(總)假(大)也。總大無言無争。顓達ハ、諸侯(大)(衆)(總)
(集)トシタ。鄭箋ニハ／又(總)(升)(堂)而齊一、皆服其職、勸其
事、寂然無言語者、無争訟者、

詩曰奏假無言時靡有争

此皆由其心性平和。顓達、諸侯總集而升堂。鄭注、假(大)也。言

／(奏)(大)(于)(宗)(廟)(之)(中)、人皆肅敬金声玉声、無有言者、
以時／太平和樂、無所争也。朱子(奏)(進)也。言進而(感)(格)(於)
(神)(明)／之際、極其誠敬、無有言説、而人自化之也。

那詩、湯孫奏假、綏我思成。毛云假(大)也。王肅述毛云、湯
32オ 「之為人ノ之孫、能(奏)(其)(大)(樂)。鄭云、(假)(升)也。
(奏)(升)(堂)(之)(樂)⁽²¹⁷⁾。

此八玉ヤノ嚴然タル所ユイ、タレアリテモノ云フモノモナク、
天子ノ席ノ／祭り故、タレアリテアラソフヘヤウモナイ。○天
子カラヲシカリハ、ナサラ／子トモ、争フモノハナイ。

奏假ノ假ヲ格ニ作ルモアリ。ス、ンテ神明ニ感格スルトキハ、
人皆恐／レ慎テヤルナリ。音樂ヲ奏シテ神明ヲ感格スル／一説、
靈屋ヘ進ンテ神明ヲ感格スル。／天子祖先ヲマツルハ孝ナリ。
サルニヨリ諸侯モヲソレツ、シム。澤地萃、王假有廟、致孝享
也。上ノ威徳ノ行ハル、ヲ云ナリ。

是故君子不賞而民勸不怒而民

(^{*1} 左) 勸善懲惡ヲ云ナリ。
(^{*2} 下挿入) 善
(^{*3} 右) シカリハセ子トモ

威於鈇鉞^{*1}

(*1右) キル臺ナリ。鉄質ニ伏ストスルト、斧ニ通スルナリ。

／鉄ハキサム刀ナリ。未鋤ライシトヨムトキハ、未ハ

スキノ／エノコトナルナリ。

上ヲ承タル詩ニテ、下ニツク羊ニヒキクルナリ。

詩曰不レシャ顯惟德^{アレハ}百辟^其刑之¹

(*1右) 百辟ハ天下ノ諸侯ヲ云ナリ。

32ウ

論語、子曰、無為而治者、其舜也與。夫何為哉。恭己正南面而已

²¹⁶。孝經曰、子曰、昔者ノ明王之以孝治天下也トアリ、論語、

子曰、書云、孝乎。惟孝、友于兄弟、施于有政。是亦為政也。

是故君子篤¹恭而天下平²

(*1左) 舜モ其德ノ本ハ孝ニアリ。

(*2左) 恭ノ中ニ謙ノ字モコモル。儉ノ字モコモル。儉者徳之

恭也、左傳。／儉ノウラ奢侈ニナリ。奢侈ノニナレハ

傲慢トナル。傲慢ハ恭ノ反ナリ。

樂記、樂則安、安則久、久則天、天則神。天(不)(言)(而)(信)、

神則(不)(怒)ノ(而)(威)²¹⁹。

表記、君子隱而顯、不矜而莊、(不)(厲)(而)(威)、(不)(言)(而)

(信)²²⁰。

繫辭、默而成之、(不)(言)(而)(信)、存于德行²²¹。

荀子不苟、論誠云、天不言而人推高焉、地不言而人推厚焉、／四

時不言而百姓期焉。天有此常、以至其誠者也。君子至徳、／默然

而諭、未施而親、不怒而威。夫此順命、以慎其獨ノ者也²²²。

烈文、無競維人、四方其訓之。不顯維徳、百辟其刑之。於乎。

／前王不忘²²³。

33オ

上ノ余波ニテ徳ノ形容ヲ説タルモノナリ。朱註、此三等外之説妙也。

詩云予懷明德不大声以色¹

(*1右) 親ニ孝ヲスルモ明德、君ニ忠ヲスルモ明德。

(*1左) 懷トハ、常ニ思ヲ忘レヌナリ。

明德ハ、善心善行ヲ云。孝弟忠信仁義礼智ヲ云ナリ。声ハ言語

ノ命令、色ハ威儀容兒ヲ云ナリ。声色ハ外ナリ。其外ナル言語

命令ヲヤ。／威儀容兒ヲハ大力服スルモノテハナイ。唯本心ノ

誠ヨリスル善徳テノナケレハ服シマセヌ。外ハ小ナリ、内ハ大

シヤ。大学ノ欲明明徳於天下ノ者モ其モトハ、学問シテ其意カ

ラ誠ニナラ子ハ心正シクナラス。身モ修ラノサルナリ。サラハ

本心ノマコトカ本シヤ。此声色ヲ淫声美色ノ声色ノト思フハワ

ルイ。明德ト云ハ他ノコトテハナイ。唯一ノ善心ト云コトシ

／ヤ。其善心ヲトヤミナク行ヘハ、天下ノ化スルコト、孟子、

所謂徳之流行速ノ於置郵而傳命ト云カ如クシヤ。

明德ノ朱子ハ、モト明ナルモノ。氣稟人欲ノ為ニ時カツテクラ

クナルト／云タハ、莊禪ノ説シヤ。明ノ字ハツケ字シヤ。サル
ニヨリ、明德トモ盛徳／トモ峻徳トモ云。唯明德トモ云テハナ
イカ、左傳定公四年ニ、衛ノ子魚カ／成王魯衛ヲ討建スルコト
33ウ ヲ説ク所ニ、分魯公以某某、以昭周公「之明德トアリ。コ
レハ成王カ伯禽ヲ大國ニ封シテ、以テ周公王家ニ勤勞／ノ盛徳
大功ヲアカシテ、天下ニ皆知ラシムル為ナリ。朱子ノ如クナレ
ハ、／周公カ成王ノ明德ヲ昭ニスト云トキハ、通スヘケレトモ、
成王カ言ニスルト、善／行ヲアラハステナケレハ通セヌコトシ
ヤ。シテ見ハ此ハ善心ヲヲモフト云テナケレハ／ナラヌコトシヤ。
上ヲ判断シタルモノナリ。

子曰声色之於以化民末也^{*1}

(^{*1}左) ム子ニ徳カアレハ自然ニ化スルモノシヤト、徳ヲ本ト
シ、声色ヲ末トシタ。
(^{*2}左) ミチヒクトヨムヘキナリ。

言語命令威儀容兒モ大切ナルコトナレトモ、ソレヲ以テ服サセ
ントスルハ、／末シヤ。本心ノ至誠テナケレハユカヌコトシヤ。
孟子、恭儉豈可以声音笑貌為哉⁽²²⁴⁰⁾。

皇矣。帝謂文王、予懷明德、不大声以色、不長夏以革、不／識
不知、順帝之則⁽²²⁵⁰⁾。

詩曰德輶如毛毛猶有倫^{*1}

(^{*1}右) 子曰、仁遠乎哉。我欲仁、斯仁至矣トアリ。又、子曰、

未之思也、夫何遠之／有ト云。此詩モ同シ味シヤ⁽²²⁶⁰⁾。

(^{*1}左) 徳ヲシヤウトテ、ナニモ十貫目二十貫アリテ重イモノ
34オ テナイシヤ。「シヤウト思ヘハ直ニテキル。毛ニハタ

クヒアリテ、糸ニモ似テヨリ、イロイロ／似タモノモ
アレトモ、徳ト云モノハ、其羊ニ似タルタクヒノモノ
カナイ。

サテ至誠聖人ノ徳ヲ形容スルニ、一番早クワカル詩カアル。上天
ノコトハ、／声モナク、臭モナク、至矣ト云カ至誠聖人ノ形容ス
ルニ、一番早イト云テ、(經文左) 形容シテ云タモノシヤ。何モ

上天之載無聲無臭至矣

天ノコトヲ此ヲ云タテハナイ。唯上ノ徳ハカルク／毛ノ羊シヤ。
毛ニハ似タモノカアルカ、徳ニハ似タモノモナイ。イカントナレ
ハ、無聲無／臭モナイト云コトニテ、無聲無臭ノ四字カ入用ヲヒ
イタモノテ、声色ノ形ア／ルモノニ對シテ無ノ字ヲハタラカシテ、
徳ヲ形容シテ其声臭ナキモノテ／アルケレトモ、其徳ハ甚タ至タ
コトシヤトホメタモノシヤ。

(眉欄) 至誠ノ徳ハ／声ヘモ色ヘモ／アラハイナイ／ケレトモ、
人ヲ敬／信サセルコト／チヤウト上／天ノコトノ臭ノ味
ナイト同シ／コトシヤト此ノ／辞ヲカリテ／聖徳ヲ形ノ
容スルナリ。

烝民、人亦有言、德如毛、民鮮克舉之、我儀圖之。

文王、上天之載、無聲無声（臭）。儀刑文王、萬邦作孚。

此詩ヲ引ニ、詩二曰ト書ヘキヲ、徳輶如毛毛猶有倫ト云カケテキテ、無聲ノ無臭ト云ハント云語勢ナルニヨリ、省畧シテ見セタルナリ。ノ詩ノ本意ハ上ニ、殷之未喪師克配上帝宜鑒于股トアルヲウケテ、ノ天下ヲサメヨウト思ハ、虞殷自天カヨイ。サレトモ上天ノコトハ、声モノ臭モナイカラ、ノツトリカヌル。文王ノ34ウ 徳ニノツトリノツツトテヲサメレハ、「萬邦ヲコツテマコト、シテ服セント云コトナリ。

此ハ篤恭而天下平ノ形容、至誠聖人ノ形容、其形容ニハ声色ノハ未シヤト云形容シテ一篇ヲ結タルモノシヤ。コレ顔淵、一日克己ノ復礼、天下歸仁焉。為仁由己、而由人乎哉ト云ノ意ト同シキモノナリ。其事ノ形容至レリ盡セルモノナリ。○一日克己復礼、天下歸仁ト同。ノ己ニ仁アルト云テフレテハアルカヌケレトモ、仁カアレハ人カ歸スルナリ。至誠ノ聖人モコレトノ同シキナリ。

文政五年壬午七月二十五日小諸藩中加川隆禮ノ之聞書請之、八月八日寫始同十三日與余之間ノ書合而寫終

注

- (1) 表紙裏記載内容については、伊藤本には見られず、錦城の講説との關係の有無は未詳。
- (2) 文政四年。以下、第八回講義。伊藤本以下日付無。伊藤本は以下卷三として、巻頭に「中庸開書卷三ノ錦城太田先生講説ノ信濃伊藤祐義忠俗筆記」とある。
- (3) 「萬事：レハ」：伊藤本は「萬事ノコトカ子テセサレハ」として「其時ニサシツカイテ立ツコトナラヌナリ」と続く。
- (4) 「考」同、「原解」同（作「事豫則立、是鋼」）。
- (5) 「考」同。
- (6) 「考」同、「原解」同（作「事豫則立、是主」）。
- (7) 「考」同（「事」傍注「政事」）。
- (8) 「考」同。
- (9) 「考」同、「原解」同（作「不豫則廢、是客」）。
- (10) 「考」同。
- (11) 目ノ分註：『原解』作「言事行道、是目。一鋼而分四目也」、「考」作「言」「事」「行」「道」各字傍注「目」。
- (12) 「考」同、「原解」同。
- (13) 「考」同。
- (14) 「考」作「道藝文学」。
- (15) 「民ヲ：トモ」：伊藤本には見えず、続くと思われる文辭不明。
- (16) 「考」同、「原解」同（次出經文「誠者天之道也、固執之道也」注、「喜氣内蓄」作「喜氣内畜」慶応本誤）。
- (17) 「考」同、「原解」同（作「湯武反之、湯武身之」）。
- (18) 「考」同、「原解」同（作「君子以反身修德」）。
- (19) 「考」同。
- (20) 「考」同。
- (21) 「考」同。
- (22) 「考」同。「原解」は、後出經文「誠則形：為能化」注にあり（「養志」考）作「養心」慶応本誤、「天不言：獨者也」「唯所居」以下「考」無、「原解」同「誠心守仁：則能變矣」「天地為大：能化万民」。
- (23) 「考」同（作「堯舜性之也」）、「原解」同（作「孟子曰、堯舜性之」）。
- (24) 「考」同（作「湯武反之也」）、「原解」同（作「孟子曰、湯武反之」）。

- (25) 『考』同(作「下文誠者性之德也」)、『原解』作「本篇云誠者性之德也」。
- (26) 『考』、『原解』同。
- (27) 『考』同(「誠者」傍注「生知安行」)、『原解』同(上文「誠者天之道也」)、「誠者」下部「生知安行」。
- (28) 『考』同。
- (29) 『考』同。
- (30) 「荀子…」儒效「萬物莫足以傾之之謂固」。伊藤本は慶応本と同文ながら、眉注に「荀子儒效二八、萬物莫足以傾之之謂」とある。
- (31) 『原解』同。
- (32) 『考』同(「召公謂」作「召公告」)、『原解』同(作「召公曰、不知乃問、不得乃學」)、『周書』作「召公曰」。
- (33) 『考』、『原解』同(作「子夏曰、博學…」)。
- (34) 伊藤本には、「性ト教トノ差別ヲワケテ見セタルモノナリ。古註集註トモニ、聖人ノ徳、賢人ノ學問ノ區別ヲシテ見セタ、チ力イナイ」とある。
- (35) 次行經文「盡其性」注。
- (36) 『原解』同。
- (37) 『考』、『原解』同(「至命」作「以至於命」、慶応本は下文に正しく引用)。
- (38) 『原解』同。
- (39) 『考』、『原解』同。
- (40) 『考』同、『原解』同(「幽於神明」)。
- (41) 『考』、『原解』同(「大禹…」)。
- (42) 『考』草稿である荻生徂徠「中庸解」の書入にはないが、『考』成書本に、「左傳 子魚曰、君未知戰、勅敵之人、隘而不列、天贊我也」とあり。
- (43) 『考』同(「分男女」「孽之災」作「合男女」「孽之疾」慶応本誤)、『原解』同(「聖王…必事」)。
- (44) 『考』同(「汚池」「勝用也」作「滄池」「勝食也」慶応本誤)。
- (45) 『考』同(「衣帛」「勿失」「百畝之間」作「衣帛矣」「無失」「百畝之田」慶応本誤、「食肉」作「衣帛」『考』誤)。
- (46) 『考』同。
- (47) 『考』同。

- (48) 『考』、『原解』同(「孔子間居…」)、「百物」作「萬物」、「謂參」作「謂能參」、慶応本誤)。
- (49) 『考』同、『原解』同(「后以…」)。
- (50) 『考』同(無「也」)。
- (51) 『考』同、『原解』同(無「也」)。
- (52) 『考』、『原解』同。
- (53) 『考』、『原解』同(「考」作「形著明」明明徳ノ動變化ノ新民)、『原解』作「形著明、則大學之明明徳也。動變化、則大學之新民也」。
- (54) 『考』同(「礼器…」)、『原解』同(「物曲有利也」)。
- (55) 『考』同、『原解』同(作「曲為之防、事物之制」)。
- (56) 『考』、『原解』同。
- (57) 『考』同(「曲礼」作「曲礼云」)。
- (58) 『考』同(「子宗子」作「子宋子」慶応本誤)、『原解』同(「子宗子」作「子宋子」、無「嚴然而好説」)。「荀子」「成文曲」作「成文典」慶応本「考」、『原解』誤。
- (59) 『考』、『原解』同。
- (60) 『考』同。
- (61) 『考』、『原解』同(「孟子君子…」)。
- (62) 『考』、『原解』同。
- (63) 『考』同、『原解』作「學記之動衆化民」。
- (64) 『考』同。
- (65) 『考』同。
- (66) 『考』同(「之謂神」作「之之謂神」慶応本誤)、『原解』同(無「充實之謂美」)、「謂大…」)。
- (67) 『考』同(「黎民於變雅」作「黎民於變時雅」慶応本誤)。
- (68) 『考』同(「則無」「唯義為之行」「天徳矣」作「致誠則無」「唯義為之行」「天徳」慶応本誤)、『原解』同(「誠心…變矣」)。
- (69) 『考』同、『原解』同(「天地…萬民」)。
- (70) 文政四年。以下、第九回講義。
- (71) 『考』同(「祝融」「商之興、橈杓吹於丕山、其亡」「鸞鸞」「王子郊」作「融」「商之興也、橈杓吹於丕山、其亡也」「鸞鸞」「王子郊」慶応本誤)、『原解』同(「商之興、橈杓吹於丕山、其亡」「鸞鸞」「王子郊」作「融」「商之興也、橈杓吹於丕山、其亡也」)。「鸞鸞」「王子郊」慶応本誤、無「是歳也」)。「礼記」中庸・孔疏に「周語」所引文あり。

- (72) 『原解』同(作「鄭玄曰、四體、謂龜之四足。蓋取諸龜策傳矣。非此章之義也。」)『礼記』中庸「鄭玄注「四體、謂龜之四足」
- (73) 『考』同(「来朝焉」「執王高」「其容卑」「二君」作「来朝」「執王高」「其容俯」「二君者」慶応本誤、『原解』同(「邾子……」)、『邾子執王高」「公受玉」「其容卑」「子貢曰」「二君皆」作「邾隱公執王高」「魯定公」「其容俯」「子貢知」「二君、無以礼觀之」)。
- (74) 『考』同、『原解』同(「高步厲」作「遠步高」)『考』慶応本誤。
- (75) 『考』同、『原解』同(無「知以藏往」)。
- (76) 『考』同(次掲「孔云……」中、慶応本掲出順誤)。「礼記」中庸・孔疏所引。
- (77) 『考』同(「本有今無曰禎、國本無鳳、……物為妖。」作「本有今異曰禎、國本有雀、今有赤雀來、是也。本無今有曰祥、國本無鳳、……物為妖。説文云、……」孔疏作「國本有今異曰禎、本無今有曰祥。何為本有今異者。何胤云、國本有雀、今有赤雀來、是禎也。國本無鳳、今有鳳來、是祥也。妖孽、謂兇惡之萌兆也。妖猶傷也、傷甚曰孽、左傳云、地反物為妖。説文云、衣服、歌謠、草木之怪為妖、禽獸、蟲蝗之怪為孽。」)
- (78) 『考』同(「大胎」「言言寢」「猶復也」作「天胎」「言寢」「猶禎也」、慶応本誤)。「五行志」「蟲象」作「蟲考」「言寢」作「言浸」
- (79) 經文「不」傍注(「△」対応)、『考』『原解』同。
- (80) 『考』『原解』同(「孟子……」)、『君臣有嚴」作「君臣嚴」。哀公問作「……父子親、君臣嚴。……」
- (81) 後出經文「合外内之道也」注(付「⊕」)、『考』同(「己之身」「自然與内合」作「己之心情」「自然内与心合」)、『考』草稿(「中庸書入」)も、慶応本と同様、「誠者自成……之誠為貴」付近に書き入れられている。また後出經文「誠者非自成己而已也」の「己」に「心術」と傍書している。
- (82) 『考』『原解』同。
- (83) 『考』『原解』同。
- (84) 『考』『原解』同(「不偏」「先急務」作「不偏」「急先務」)、『先急務』慶応本誤、「不偏」『孟子』盡心上作「不遍」。
- (85) 前出「⊕己、己之身……⊕物、身之行……」参照。
- (86) 『考』『原解』同。
- (87) 「哀公問」所引文については、伊藤本も「故至誠無息」注として引用されているが、『考』『原解』は、後出經文「於乎不顯……純

亦不已」の注として引用。尚、慶応本は同経文注としても重出(第十三丁裏)。

- (88) 『考』同、『原解』同(「恒久也」「久於其道也」「聖人……」)。
- (89) 『考』同、『原解』同(無「坤象……」)。
- (90) 『考』同。
- (91) 『考』同、『原解』同(無「又云牝馬……行地無疆」)。
- (92) 『考』同、『原解』同(無「四時……」)。
- (93) 『考』同(「而已」作「而已矣」)。
- (94) 『考』同。
- (95) 『考』同(「讀宜細」作「讀者細精」)。
- (96) 『考』『原解』同。
- (97) 『考』同、『原解』同(無「依人而行」)。
- (98) 『考』『原解』同。
- (99) 『考』同(「天神」作「夫神」、慶応本誤)、『原解』同(無「内史過云、「天神」「遷焉」作「夫神」「遷也」)。
- (100) 『考』『原解』同(「精神」作「精則神」、「得得」作「謂得」慶応本誤)。
- (101) 『考』同、『原解』同(「不備」作「不備」慶応本誤、無「而又能齊肅衷正如是則」)。
- (102) 『考』同(末「也」無)、『原解』同(「祭統……百品」)。「鄭玄注」為物……百品」。
- (103) (⊕)以下後出經文「華嶽」注(付「⊕」)、『考』『原解』同(「爾雅……曰嶽」「嶽ハ……ナリ」)、『考』作「嶽禹貢岬」、『原解』作「乃禹貢岬山」「西吳山」作「西吳」)。
- (104) 「石」脱。
- (105) 「魚鱉」脱。伊藤本眉欄補訂。
- (106) 伊藤本作「正覚坊」。
- (107) 『原解』同(作「幽遠貌」)、『考』作「雖幽遠不可見」。
- (108) 『考』『原解』同。
- (109) 『考』『原解』同(「哀公……」)、『考』作「著不息者」、『原解』無「敢問」。「哀公問」所引文は、第十丁表眉欄に重出。
- (110) 『考』同。
- (111) 文政四年。以下、第十回講義。
- (112) 『考』『原解』有「莊子」天地篇所引「夫子曰、夫道、覆載萬物者也、洋洋乎大哉」。

- (113) 伊藤本は「イタルトヨムヘシ」と続く。
- (114) 『考』同(「推」作「撫」慶応本誤)、『原解』同(無「推于五辰」)。
- (115) 『考』『原解』同(無「孔子曰」)。
- (116) 『考』同(「其事儀」作「其中事儀」慶応本誤)、『原解』同(無「註」)。
- (117) 『考』同。
- (118) 『考』同(「光被于四表」作「光被四表」)、『原解』同(無「光被于四表」)。
- (119) 『考』同。
- (120) 『考』同、『原解』作「成湯格於皇天。大戊格于上帝」。
- (121) 『考』同(「崧嵩」作「崧高」慶応本誤)、『駿大也』下有「極至也」、『原解』同(「崧嵩」作「崧高、無「駿大也」)。
- (122) 『考』同(「大禹」)。
- (123) 『孟子ノ…マスヨ』『原解』作「德性者、…孟子所謂性善、是也」、『孟子存其心…心養性』『原解』作「孟子曰、存其心、養其性」。
- (124) 『考』同(「端也」作「華也」『考』誤)。
- (125) 以下經文「致廣大而精微」「極高明而道中庸」「溫故而知新敦厚以崇禮」に点在する傍注「德」字、「學問」「修德」「德行」は、『考』『原解』当該字句にも「德」「學」と添書される。
- (126) 「中者…」『考』同。
- (127) 『考』同(「曰」作「謂」)、『禮記』作「謂之」。
- (128) 『考』同(「首出…」)。
- (129) 『考』同(「論語…」)、『論語』泰伯作「大哉…巍巍…」、慶応本は「考」の挿入記号を考慮せず、そのまま移写したもの。
- (130) 『考』同。
- (131) 『考』同(「性之德」作「性之端 慶応本誤」)。
- (132) 『考』同(「致用」作「致用也」)、『原解』同(「精義入神」)。
- (133) 『考』同(「繫辭…」)。
- (134) 『山海…』『考』同、『原解』同(「風道北來」「玄鶴…而來」)。
- (135) 『考』同(「升庵云…」)。
- (136) 『原解』同箇所引用(『周易』「論語」)。
- (137) 伊藤本以下巻四。巻頭「中庸閒書卷四／錦城太田先生講說／

翻刻 慶應義塾 大田錦城講說伊藤忠岱筆記「中庸閒書」(二)

- (138) 信濃 伊藤祐義忠岱筆記
『考』『原解』同(「仲虺…」)、『無「曰予聞…若者亡」]、『自用』作「將自用也」慶応本誤、有「荀子」業問所引文)。
- (139) 「如此者」伊藤本にも脱。
- (140) 『考』同(「則審今日」「荀子」作「則數今日」)、『原解』『九經談』同(「舍後…事人之君也」)。
- (141) 『考』同(「舍之而為非」)、『大戴禮記』作「舍此而為非」。
- (142) 實際の引用は第十七丁裏にあり。
- (143) 『舜典…』『考』『原解』同(「協」作「協」、無「焉」慶応本誤)、『王制…』『考』同、『原解』同(「考時月、定日」)。
- (144) 『考』『原解』同。
- (145) 八佾「子曰、夏禮、吾能言之、杞不足徵也。殷禮、吾能言之、宋不足徵也。文獻不足故也、足則吾能徵之矣」。
- (146) 『考』は經文「禮」字下に「有杞存焉」と書入挿入があり、『原解』は經文「杞」字上に「有」、下に「存焉」と小字で挿入される。
- (147) 『考』は經文「焉」字下に「不足徵」と書入挿入があり、『原解』も同位置に「不足徵也」と小字で挿入される。
- (148) 『考』『原解』後出。
- (149) 『考』同。
- (150) 『考』同。
- (151) 『考』同。
- (152) 『考』同。
- (153) 「三重」以下「朱云…旨矣」までは、一部異同があるも『考』とほぼ同じ。『原解』は、人名呼称表記、掲出順等異同もあるも、「有其位…蔡氏」までは、ほぼ同内容の記述あり。尚、伊藤本には以下の通り文章化される。
「鄭玄、孔穎達、河南程氏、建安游氏、河東侯氏、陳水司馬氏、兼山郭氏ハ三王ノ礼シヤトミタ。藍田呂氏、新安朱氏ハ議礼制度考文ノ三ト云夕夕。」上焉者ハ、不可使知之者、下焉者日用不知者也。故君子用其中、必本於脩身、本諸身、徵諸庶民ト云モノハ永嘉薛氏ナリ。信徵民從ノ三ト云モノハ臨川王氏ナリ。○善於己、徵於人、人信也、善於己、尊(於)人、人信之ト云ハ延平周氏ノ說○有德有位、徵庶民ト云ハ、礼記集說ノ蔡氏ノ說○上謂君也、下謂臣也、鄭氏ノ說○三王以上、

三皇已遠之事、非三王之道、如諸侯伯者之事、程伊川○上述之事、如性命道德之本、下達之事、如刑名度數之末、呂氏○上ハ於三王ナリ、謂高論之士、下於三王、謂卑論之士、司馬氏○道德政刑、高要譚氏○過不及、新定顧氏○過乎思質文、不及乎思質文、晏氏○居富貴之地、居貧賤之地、王氏○有其位而無其德、有其德而無其位、蔡氏○德位時、明高拱中玄問辨錄○朱云：旨矣、「陳水司馬氏」考作「涑水司馬氏」慶応本、伊藤本誤(『原解』作「司馬光」)。

(154) 「知之者」信徵民從。『考』原解作「知之者也」「徵信民從」。

(155) 「人信也」考。『原解』作「人信之」。

(156) 「考」原解無「礼記集說」。

(157) 「刑名」考。『原解』作「形名」。

(158) 「賤之地」考。作「賤之位」(『原解』同慶応本)。

(159) 「考」原解に「問辨錄」「經典釈文」解釈あり。

(160) 「ワクルヲモワレヌ」については不明。「百代ノ…一也」については、伊藤本には、「…百代スキテ聖人力出玉フトモ、此ハワルイ、コレヲ用レハ害ニナラント思ヤウナコトテナイカラ、後ヲ案シ煩ク感力ナイ。此方前聖後聖其揆一也ノ所ニテ、…」とある。「前聖後聖其揆一也」は、『考』原解「ともに、『孟子』と出典を明記し、「先聖後聖其揆一也」に作る。

(161) 「孟子…至也」考。『原解』同。

(162) 「君子」伊藤本ともに脱。

(163) 「考」同、『原解』同(「達不…望焉」)。

(164) 文政四年。以下、第十一回講義。

(165) 「考」同、『原解』同(「礼也…地財」)。

(166) 「考」原解同。

(167) 後出経文「萬物並育」に対する「三千七十弟子ノ教育生育」、及び「大徳教化」に対する「三千七十ノ弟子ヲソタテ玉フハ、教化トヒトシキ所シヤ」と併せ、『考』には、「持載覆幘、萬物並育、大徳教化、言夫子教育化育三千七十弟子也」とある。前掲注(167)参照。

(168) 「考」作「師也過、商也不及。求也退、故進之、由也兼人、故退之。萬物並育、而不相害。是之謂也」。

(169) 「孔子ハ匹夫ニテ…」伊藤本では「匹夫ニテサハ」とある。

(170) 「三千…」前掲注(167)参照。

(171) 「三千…」前掲注(167)参照。

(172) 「為」伊藤本ともに脱。

(173) 「建安游氏」以下後掲「持載覆幘」「錯行代明」「竝育並行」「教化川流」に関する諸注の列挙は、一部異同があるも、該掲出句等、『考』とほぼ同じ。『原解』は、人名呼称表記、掲出順等異同もあるも、ほぼ同内容の記述あり。尚、伊藤本もほぼ同じ。「體元而享」「元亨」考。『原解』作「體元而亨」「元亨」。

(174) 「可以速則」考。『原解』作「可以速則速」、「之衛之之末」考。『原解』作「之末之衛」。

(175) 「久速皆」考。『原解』作「久速之皆」。

(176) 「魯而縫」「用捨」考。『原解』作「魯而逢」「用舍」。

(177) 「尊尊」考。『原解』作「尊賢」。

(178) 「考」原解無末「也」。

(179) 「不覆」考。『原解』作「不幘」慶応本誤(伊藤本同)。

(180) 「變通配」「周易」作「變通變」(『考』同慶応本、『原解』無)。

(181) 「秋収」考。『原解』作「秋斂」慶応本誤。

(182) 「川流也」考。『原解』無「也」(伊藤本同慶応本)。

(183) 「小徳」「大徳」考。『原解』作「小徳川流」「大徳教化」(伊藤本同慶応本)。

(184) 「按」以下「江陵項氏…從也」は、『考』によれば、寛政三年十月錦城按語。

(185) 「其大徳」考。『原解』伊藤本作「言其大徳」、『原解』無「其」。

(186) 「原解」作「堀河伊藤維楨以知仁勇礼義配之。極為協當。今從之」。

(187) 「原解」作「洪範曰、思曰睿。睿為聖。次章言聖知、而此章則言睿知。是亦降一格也」。

(188) 所引「左傳」昭公二十八年、『考』原解引用同。

(189) 「考」同。

(190) 「綽綽」所引「孟子」公孫丑下、『考』原解引用同。

(191) 「樂陽」「莊子」「晏嬰傳」所引文『考』原解同(莊子所引「充孔陽」作「充孔揚」無「采色不定」、「晏嬰傳」作「晏子傳」)。

(192) 「考」原解所引文同。

(193) 「考」同。

(194) 「考」原解同。

(195) 伊藤本によれば、「謂之中」の「之」は衍字。

- (196) 『考』『原解』同。
- (197) 『考』『原解』作「深而不可測」。
- (198) 『考』『原解』作「有本而不竭」。
- (199) 伊藤本は「ナホマシカサカンニシテ、中國ニアフレ、蠻貊ニ及ホスナリ」と続く。
- (200) 「尊」「親」左右傍注は、『考』も同様にして、徂徠『中庸解』経部に各々「尊」「義」「敬」、「親」左右に「仁」「愛」と書入がある。
- (201) 『原解』同（「大人也者」作「大人者」慶応本誤）
- (202) 『考』同。
- (203) 『考』『原解』同。所引文他、「肫」字注については、『考』『原解』同義。
- (204) 『考』『原解』同。
- (205) 「中庸……」『考』同。
- (206) 「大經 大本 化育」以下「楊氏游氏云：朱氏據之是也。」までは、一部異同があるも、『考』とほぼ同じ。『原解』は、人名呼称表記、掲出順等異同あるも、ほぼ同様の引用あり。但し、未行「楊氏游氏云：朱氏據之是也。」は経文「淵淵」に関する注のため、両書とも前掲。
- (207) 『考』『原解』同（無「遂知來物」「遂成天地之文。極其數、遂定天下之象」「遂通天下之故」）。
- (208) 文政四年。以下、第十二回講義。
- (209) 『考』同、『原解』同（「表記……以壞」）。
- (210) 『考』同。
- (211) 『考』『原解』同。
- (212) 「者」伊藤本ともに脱。
- (213) 『考』同。『詩経』大雅。
- (214) 『考』同。
- (215) 伊藤本作「奏假」。下文に「奏假ノ假ヲ格ニ作ルモアリ」とある。
- (216) 下文「烈祖……」32才「鄭云……之」(樂)。
- (217) 「烈祖……」『考』同（無仮名文）。
- (218) 『考』同。
- (219) 『考』『原解』同。
- (220) 『考』『原解』同。

- (221) 『考』『原解』同（「存于德行」作「存乎德行」慶応本誤）。
- (222) 『考』『原解』同（「天有此常」「默然」作「夫此有常」「嘿然」慶応本誤、『原解』無「論誠云」）。
- (223) 『考』同。
- (224) 『考』『原解』同。
- (225) 『考』同。
- (226) 伊藤本には「徳ヲシヤウ、誠ヲシヤウト思ヘハ、心ノ中テトリマハシノテキルモノテ、カヲ用ルモノテハナイ。此力論語ニ、子曰、仁遠乎哉。我欲仁、斯仁至矣トアリ。又、子曰、未之思也、夫何遠之有ト云ト同シコトテ、善ハ遠クナイ心ノ中ニアルノシヤ。善ヲセントスルトキニハ、直ニ善力心ニ浮ンテクル悪ヲスルトモ同シコトシヤ。」とある。